



 **OKUWA**

REPORT 2022



オークワ
オリジナルキャラクター **クワビちゃん**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

経営理念・経営信条

「商業を通じて地域社会に貢献する」

わが社の成長発展こそがお客様の生活文化の向上を促し、社会への大きな貢献となることを念願し、チェーンストア業界の名門としての地位を永遠に確立する。

私たちの目指すもの ～オークワ経営ビジョン～

「変わらぬ想いで、変わり続けるスーパーマーケット」

環境、社会、経済などの変化に適応し、

顧客ニーズに即した便利さとお買い物の楽しさを提供する店舗づくりで、

お客様の生活に欠かせない地域の生活インフラとして貢献し続けます。

オークワの信条

- 1 今日、只今あるすべてに感謝し、お客様並びに取引関係先様から、信頼され親しまれる会社になるよう日常の行動に誠実を尽くす。
- 2 技術革新に基づく合理的経営を行い、商品コストを下げ、常に良い品を安く奉仕させていただけるよう研究努力を行う。
- 3 愛と奉仕と誠実をモットーに商業を通じて地域社会に貢献する。
- 4 一挙に大を望まず、たゆみなき努力の積み重ねによる堅実経営を行い、長期の安定成長を計画し、全社員の福祉と生活向上を実現させる。

編集方針

オークワの企業姿勢や具体的な取り組み内容を、株主・投資家の皆様をはじめ、お取引先様、お客様などのあらゆるステークホルダーの皆様にご理解をいただくために、今年度2022年より新たに「オークワレポート」を作成いたします。このレポートを通して、今後も皆様からの忌憚のないご意見をいただきながら改革を進め、地域社会と共に持続的に成長発展する企業になれるよう取り組んでまいります。

報告対象組織

株式会社オークワ
※一部、グループ会社の内容も含まれます。

報告対象期間

2021年度(2021年2月21日から2022年2月20日まで)
※一部、上記期間外の取り組み内容を掲載しています。

発行日

2022年4月30日

オークワレポートに関するお問い合わせ

株式会社オークワ
サステナビリティ推進室
〒641-8501 和歌山市中島185番地の3
TEL (073)425-2481 (代)
URL <http://www.okuwa.net>

私たちの行動規範

1. お客様との関係

- 1 私たちは、お客様の安全安心を最優先に、関係法令を遵守し、お客様に満足いただける商品・サービスを提供することに努めます。
- 2 私たちは、常に公正かつ誠実な態度でお客様に接し、お客様からのご意見には迅速かつ的確に対応します。
- 3 私たちは、お客様の個人情報を保護し、収集、利用、管理は適正な方法で行います。
- 4 私たちは、お客様からの苦情に対しては真摯に対応し、不当要求と認められる場合には上司と共に法令に則り適切な対応を心がけます。

2. 従業員との関係

- 1 私たちは、基本的人権と多様な価値観を尊重し、人種、宗教、性別、国籍、信条、障がい、年齢等に関する差別的言動、暴力行為、セクシャルハラスメント、いじめ等の人格を無視する行為を行いません。
- 2 私たちは、労働関係法や安全衛生に関する法令等を遵守し、従業員の安全衛生の確保を最優先に、安全で衛生的な職場環境の整備、維持に努めます。
- 3 私たちは、業務上のあらゆる情報を漏洩のないよう厳正に管理します。

3. 取引先との関係

- 1 私たちは、すべての取引先が当社と対等の立場であることを十分認識して、公正かつ誠実に対応します。
- 2 私たちは、取引先との接待や贈答品の授受を、社内規則及び社会的常識の範囲内とします。
- 3 私たちは、取引条件や契約内容等の業務で知り得た取引先の機密情報は、漏洩のないよう厳正に管理します。
- 4 私たちは、委託者責任の観点から業務委託先の業務についても健全性および適切性を管理します。

4. 株主との関係

- 1 私たちは、企業経営に関する法令を遵守し、企業経営と事業活動に関する情報を適法かつ適正に情報開示を行います。
- 2 私たちは、株主の権利行使に関する利益供与や会社関係者によるインサイダー取引は、株主からの信頼を裏切り、企業の信用を失墜させる行為であり、絶対に行いません。
- 3 私たちは、株主の財産に関する重要等の株主情報を漏洩しないよう厳正に管理します。

5. 社会との関係

- 1 私たちは、関連法令を遵守し、許認可取得、届出及び報告等の手続きを適時的確に行います。
- 2 私たちは、すべての企業活動にあたり環境保全を重視し、環境負荷の抑制に努めます。
- 3 私たちは、会計帳簿への記載や伝票、記録等を故意に事実と異なる不正処理を行いません。
- 4 私たちは、暴力団または反社会的勢力との関係を持たず、かつ取引を行いません。
- 5 私たちは、企業市民として社会貢献活動に積極的に参加し、地域社会の発展に寄与します。

目次

01	経営理念・経営信条
02	私たちの行動規範
03	トップメッセージ
04	オークワのあゆみ
05	事業内容・事業展開
07	サステナビリティの取り組み
09	地域とお客様の暮らしをサポート
13	社会貢献活動
15	地域社会の安全・安心のために

17	健康、安全・安心な暮らしのために
19	環境への取り組み
22	オークワのDXの推進
23	魅力ある職場づくり
25	ガバナンス
27	ESG データ集

※掲載写真は、コロナ禍以前に撮影したものもあります。

トップメッセージ



新たな「変化の時代」への挑戦。 サステナブル経営を軸に、地域の暮らしと未来を豊かに。

2021年は、新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見えない状況の中、近隣店舗の利用やまとめ買いによる来店頻度の低下などお客様の買い物のスタイルが大きく変化しています。また、オンラインの活用などIT技術の発展により、社会全体が大きく変革していることを目の当たりにしています。こうした状況下において、改めてスーパーマーケットの存在意義を考えますと、私たちはこの新たな「変化の時代」にいち早く対応すべく挑戦をし、地域の暮らしと日々の生活の質を守る、地域になくはならない存在として成長を続けなければならないと確信しています。

オークワは、小売店舗を「レギュラー」「スーパーセンター」「メッサ」「プライスカット」の4つの業態で展開しており、地域のお客様のさまざまなニーズへの対応を図っています。2021年度は新たにレギュラー業態の「田辺東山店」、メッサ業態の「パレマルシェ神宮前店」を開店しました。さらに10店舗の大型改装を行い、それぞれの店舗で新しい取り組みにチャレンジするとともに、成功事例は速やかに他店舗にも水平拡大を図り、全業態のブラッシュアップを推進しています。

2020年2月より展開をスタートしたオークワブランド商品は、「あの商品があるから、オークワに行こう」とお客様が目当てにくださることをコンセプトに、商品の開発・育成を推進した結果、2022年2月現在では、631SKU※、190億円の販売額に成長しました。今後も、環境や地産地消といったサステナビリティの視点を積極的に取り入れながら、地域のお客様の声を大切に、さらなる開発・改廃を行っていきます。

そして、4つの業態の確立とオークワブランド商品の充実および認知度アップ、従業員のカスタマーサービススキルの向上、それらの活動を支える従業員の働きやすさ・働きがいの創出に力を入れ、独自性のある地域になくはならないお店づくりを進めていきます。

社会に目を向けると、コロナ禍や環境問題など従来のやり方では対応できない時代になっています。こうした大きな変化に対応するには、

企業活動においても抜本的な改革が必要です。そのひとつ、IT技術やAIの活用等DXの推進が今後ますます重要になると考えています。オークワでは早くからセルフレジの導入やネットスーパーの開設といったIT技術を使った顧客サービスを推進してきました。今後もDXの深化にチャレンジし、社会のデジタル化シフトに対応していきます。

私たちは、「商業を通じて地域社会に貢献する」という信条を実現すべく、社会貢献活動にも取り組んでまいりました。1993年「財団法人大桑教育文化振興財団」を設立し、地域の教育やスポーツ、文化事業への援助、寄付活動を続けています。オークワ本体でも、出店地域との災害支援協定の締結や日本赤十字への義援金寄託、和歌山県社会福祉協議会との協定に基づく和歌山県内の子ども食堂へのお米の寄贈など、様々な社会貢献活動を行っています。

また、太陽光発電設備の設置・稼働、再生エネルギーの導入・活用、店頭でのリサイクル資源回収ボックスの設置など、環境への取り組みを実施しています。しかし、地球温暖化や海洋汚染の問題など地球環境の課題はまったなしのところまで来ています。そこで、当社でも、未来の地球、未来の子どもたちにより良い環境をつないでいくために「サステナビリティ」を中心にすえた「環境」と「社会」の取り組みをより一層推進するための「サステナビリティ推進室」を2021年9月に新設しました。今後、関係各所、社内の各部署と連携を取りながらさまざまな取り組みを実施し、オークワの持続成長を通じて「地球環境の維持」と「地域社会の持続的成長」に貢献できるように取り組んでまいります。

この度、サステナビリティの取り組みを主軸とした当社の活動報告書「オークワレポート2022」を発行いたしました。皆様からのご理解やご支援を引き続き賜りますよう心よりお願い申し上げます。

※SKUは在庫管理上の最小管理単位で、Stock Keeping Unitの略です。

株式会社オークワ 代表取締役社長

大桑 弘嗣
OKUWA HIROTSUGU

1959年
(昭和34)

- ・オークワのスーパーマーケット第1号店「主婦の店 新宮店」オープン
- ・三重県へ進出「主婦の店 熊野店」オープン



和歌山県初のセルフ方式スーパーマーケット「主婦の店 新宮店」

1966年
(昭和41)

- ・「主婦の店 オークワ」から「オークワ」へ社名変更

1969年
(昭和44)

- ・オークワ創立10周年
- ・「株式会社 主婦の店オークワ」設立



「日本流通産業株式会社」設立祝賀会において挨拶する創業者 故・大桑 勇

1974年
(昭和49)

- ・株式会社平和堂ほか合計7社で共同仕入機構「日本流通産業株式会社」(ニチリウ)設立

1975年
(昭和50)

- ・「株式会社 チェーンストアオークワ」に社名変更

1977年
(昭和52)

- ・新たなシンボル「ハト」のロゴマーク誕生



オークワのロゴマーク移り変わり

昭和34年～40年代

新宮大桑百貨店のマーク 昭和43年～51年

昭和41年～51年代

現在のマーク

1979年
(昭和54)

- ・オークワ創立20周年

1985年
(昭和60)

- ・奈良県へ進出「オークワ 五条店」オープン

1987年
(昭和62)

- ・大阪証券取引所市場第二部に上場



大阪証券取引所市場第二部上場承認通知書並びに上場記念楯の授与

1988年
(昭和63)

- ・「和歌山食品工場」(和歌山市)設立 ※惣菜工場は翌年9月創業

1989年
(平成元年)

- ・オークワ創立30周年
- ・代表取締役社長に大桑 増嗣就任 (現取締役会長)



1987年10月 大阪証券取引所の電光掲示板を見上げる現会長(左)と創業者(右)

1990年
(平成2)

- ・大阪証券取引所市場第一部に上場

1992年
(平成4)

- ・「和歌山物流センター」(和歌山市)設立

1993年
(平成5)

- ・当社最大のショッピングセンター「バームシティ和歌山店」オープン
- ・「大桑教育文化振興財団」設立

1995年
(平成7)

- ・「オーカード」サービス開始



1998年
(平成10)

- ・代表取締役社長に大桑 啓嗣就任 (現取締役)

1999年
(平成11)

- ・オークワ創立40周年
- ・「みはま食品工場・流通センター」(三重県南牟婁郡)設立
- ・「関流通センター」(三重県亀山市)設立
- ・本社新社屋完成



オークワ本社中島店

2000年
(平成12)

- ・「株式会社 チェーンストアオークワ」から「株式会社 オークワ」に社名変更



東京証券取引所オープンプラットフォームにおいて開催されたオークワ上場記念式典

2001年
(平成13)

- ・東京証券取引所市場第一部に上場

2003年
(平成15)

- ・「オーカードプラス」サービス開始
- ・「泉佐野流通センター」設立

2004年
(平成16)

- ・プライスカット第1号店「西浜店」オープン
- ・メッサ第1号店「メッサオークワガーデンパーク和歌山店」オープン
- ・「セルフレジ」誕生 西日本初導入



メッサオークワガーデンパーク和歌山店

2005年
(平成17)

- ・「スーパーセンターオークワ南紀店」オープン(スーパーセンター最大4,000坪)
- ・「マツモトキヨシ」と業務提携
- ・「ヒラマツ」と資本業務提携

2006年
(平成18)

- ・ネットスーパー1号店「ネットスーパーオークワ和泉小田店」オープン

2007年
(平成19)

- ・愛知県へ進出「オークワ愛西プラザ店」オープン



オークワ愛西プラザ店オープニング

2008年
(平成20)

- ・東海エリア高質スーパー「株式会社 バレ」グループ会社化
- ・新惣菜工場「オーデリカファクトリー和歌山」設立
- ・岐阜県へ進出
- ・兵庫県へ進出「プライスカット明石大久保店」オープン



オーデリカファクトリー和歌山

2009年
(平成21)

- ・オークワ創立50周年
- ・岐阜県にスーパーセンター業態、レギュラー業態初出店



創立50周年記念ロゴ



スーパーセンターオークワ老老店(岐阜県)

2010年
(平成22)

- ・新オーカードプラス誕生
- ・日本初上陸「ドライブスルー」型ネットスーパーがオープン



2011年
(平成23)

- ・ネットスーパー和歌山県下全域配達スタート



オークワ・バレルマルシェ合併記念ロゴ

2012年
(平成24)

- ・代表取締役社長 兼 COOに神吉 康成就任
- ・連結子会社 株式会社バレとの合併

2013年
(平成25)

- ・「東海食品センター」(愛知県春日井市)開設

2015年
(平成27)

- ・創業者・大桑 勇 生誕100周年
- ・紀の国わかやま国体オフィシャルスポンサー協賛

2016年
(平成28)

- ・電子マネー機能付きオーカード導入



電子マネー機能付きオーカード

2017年
(平成29)

- ・新食品製造工場「オーデリカファクトリー安八」(岐阜県安八郡)新設稼働
- ・オークワ「食と暮らしの大博覧会」初開催
- ・オークワレギュラー業態 静岡県へ進出



オーデリカファクトリー安八

2019年
(令和元年)

- ・オークワ創立60周年

2020年
(令和2)

- ・静岡県にスーパーセンター業態初出店「スーパーセンターオークワ掛川店」オープン

2021年
(令和3)

- ・代表取締役社長に大桑 弘嗣 就任

4つの業態で、地域の持続的な成長に貢献

地域密着、低価格訴求、高級志向、ワンフロアワンストップショッピングといった視点を4つの業態に落とし込み、事業を展開しています。また、お客様と商品がデジタル店舗でもつながるチャンネルも運営しています。多様化するお客様のニーズに対応する多角的展開で、地域の持続的な成長と生活の質の向上に貢献し、地域になくてはならない生活インフラとしての存在感の向上を図っています。

レギュラー業態



Pare Marché

「地域密着を第一に」をコンセプトに、食料品・日用品を中心に、毎日の食と暮らしをサポートする商品を提供する業態です。

96 店舗



オークワ本社中島店

スーパーセンター業態



毎日の暮らしに欠かせない商品、サービスを、ワンフロアワンストップショッピングでご提供する業態です。「衣・食・住」のすべてを扱う大型店舗です。

29 店舗



スーパーセンターオークワ掛川店

メッサ業態



Pare Marché

「高級志向」のお客様をターゲットとした、上質な美味しさを揃えたひとクラス上のスーパーマーケットです。商品だけでなく、内装にもこだわり、高級感あふれる空間とし顧客満足度の向上を図っています。

6 店舗



メッサオークワ高松店

プライスカット業態



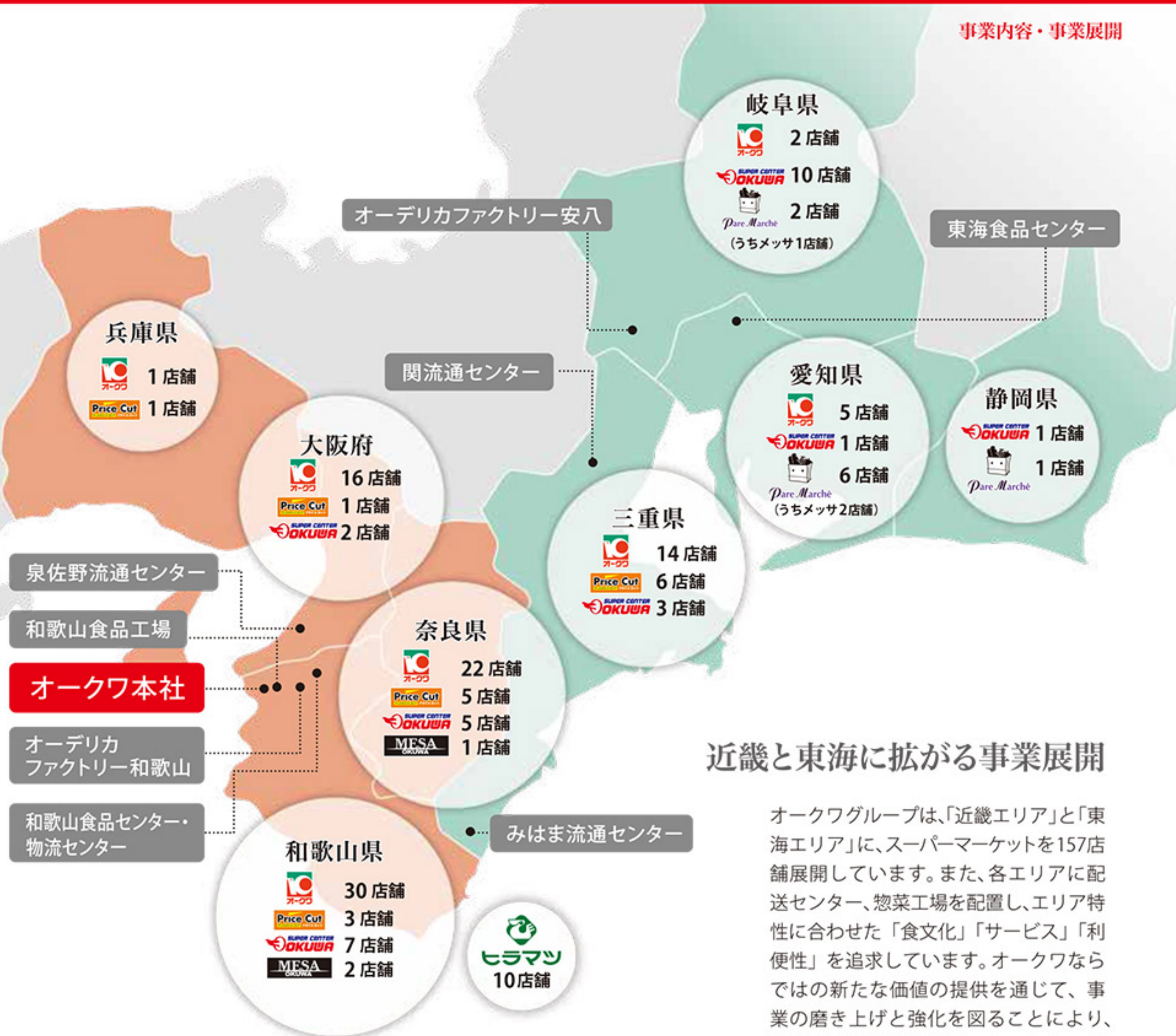
とにかく安い「低価格訴求」をコンセプトとした、プライス最優先の業態です。効率的な運営、ローコストオペレーションを徹底し、驚きの価格を実現しています。

16 店舗

(店舗数:2022年2月21日現在)



プライスカット榛原福地店



(店舗数:2022年2月21日現在)

近畿と東海に広がる事業展開

オークワグループは、「近畿エリア」と「東海エリア」に、スーパーマーケットを157店舗展開しています。また、各エリアに配送センター、惣菜工場を配置し、エリア特性に合わせた「食文化」「サービス」「利便性」を追求しています。オークワならではの新たな価値の提供を通じて、事業の磨き上げと強化を図ることにより、近畿と東海におけるマーケットシェア拡大を推し進めています。

会社概要

創業	1938年5月	従業員数	15,672名(準社員を含む) (2022年2月21日現在)
会社創立	1959年2月27日	事業内容	システムによるチェーンストア経営 食料品、酒類、米類、家庭用品、住居用品、 室内装飾品、DIY、レジャー用品、スポーツ用品、 家庭電化製品、化粧品、医薬品、衣料品の販売
会社設立	1969年2月21日	グループ会社	株式会社ヒラマツ 株式会社オークフーズ 株式会社リテールバックオフィスサポート 株式会社サンライズ 株式会社オー・エンターテイメント 有限会社マミー
会社名	株式会社オークワ		
資本金	141億1,749万円		
代表者	代表取締役社長 大桑 弘嗣		
本社	和歌山市中島185番地の3 TEL.073-425-2481(代)		

サステナビリティの取り組み

持続可能な社会と暮らしの実現に向けて

「商業を通じて地域社会に貢献する」の経営信条のもとお客様から信頼される企業を目指しています。そのために、すべてのステークホルダーの皆様と協働して、当社グループの成長と社会の持続可能性を両立させるため、「サステナビリティ基本方針」を定めるとともに、サステナビリティの優先課題として「サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)」を掲げ、取り組みを推進しています。

サステナビリティ基本方針

- 1 地域社会の発展につながる活動に関わり、地域の皆様のより良い生活に貢献します。
- 2 安全、安心、健康に配慮した商品を提供し、取引先との公正な事業慣行に則ったサプライチェーンを構築します。
- 3 地球環境問題の解決に取り組み、持続可能な社会づくりと環境負荷低減に努めます。
- 4 地域社会との連携と協調を図り、地域社会の一員としての責任を果たします。
- 5 次代を担う子供たちが明るく健康に育つよう育成支援に努めます。
- 6 世界各国ならびに日本の環境法令、地域の条例・協定、ステークホルダーとの合意事項等を遵守し、適切な対応を行います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)

(2022年7月5日/内容更新)



豊かな未来を目指し、地球環境保全のために環境負荷低減に向けた対応を実施していきます。



関連法令やルールを順守し、原料調達から入荷・商品管理・鮮度管理を通じて安全・安心をご提供。合わせてデジタル化を進め、お客様の健康・栄養支援、顧客体験拡大を実施していきます。

お客様の健康かつ便利な暮らしの実現

環境保全のための負荷軽減

多様な人材が挑戦する魅力ある職場の実現



従業員が健全にいきいき働き続ける職場、労務環境づくりを目指して、人材活用、人材育成、女性活躍推進などの取り組みを推進していきます。

6つの重点項目

地域社会(コミュニティ)との共生

サステナビリティに配慮した商品の提供



当社の経営信条「商業を通じて地域社会に貢献する」を実践していきます。

社会からの信頼を高める法令遵守とリスク管理



当社のみならずサプライチェーン全体で省エネやエシカルを意識した商品開発・提供を行い、合わせてサプライチェーンマネジメントを実践していきます。



倫理・法令を誠実に遵守し、社会からの信用を高めることを目的として、リスク管理とコンプライアンスを徹底していきます。

重点項目

課題項目

重点項目	課題項目
環境保全のための負荷軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動対応(温室効果ガス排出量削減) ・環境負荷低減 ・フードロスの削減
多様な人材が挑戦する魅力ある職場の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の獲得、維持 ・働きやすい職場環境の整備(労働安全衛生・健康経営推進) ・ダイバーシティの推進、人権尊重 ・従業員教育の深化
サステナビリティに配慮した商品の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ、エシカル商品の提供 ・サプライチェーンマネジメント
社会からの信頼を高める法令遵守とリスク管理	<ul style="list-style-type: none"> ・コーポレートガバナンス強化 ・リスクマネジメント ・災害への備え、減災、BCP
地域社会(コミュニティ)との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化への対応、地域創生への貢献 ・交通弱者への対応、配達
お客様の健康かつ便利な暮らしの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の健康、栄養支援、顧客体験拡大 ・デジタル化の推進 ・商品の安全性向上

地域とお客様の暮らしをサポート

この活動に関する SDGs の取り組み



お買い物をより便利に楽しく

いつでも快適にお買い物をしていただくために、お客様の利便性向上に取り組んでいます。昨今は特にDXの推進に重点を置き、デジタルを活用したサービスの拡充を進めるとともにリアル店舗との融合を図り、お客様ごとに最適なサービスを提供できる環境づくりを目指しています。

お買い物サポート

●即日配達サービス「おたすけ便」

お客様の利便性向上を目的として2005年にサービスを開始した「おたすけ便」は、店舗での買い物物品をご自宅に配達するサービスです。現在103店舗で実施しており、お客様のご要望を受けて配達エリアの拡大や受付件数の増加などサービスの改善を続けています。感染症対策として、配送ドライバーはマスクの着用はもちろん、手洗い、体温の測定など感染防止を徹底して行っています。

シニア層・障がいをお持ちの方への支援
「ハートフル倶楽部デー」



60歳以上もしくは障がいをお持ちのお客様を対象に、「おたすけ便」を無料でご利用いただけるサービスデー(毎月15・16日)を設け、ご好評をいただいています。



●ネットスーパー オークワ



ご自宅や職場などからいつでもお買い物をしていただけるよう、店舗で販売している商品をオンラインで販売するネットスーパーを開設しています。コロナ禍以降、外出控えなどにより新規会員および受注件数が増加し、売上が増加しております。今後もお客様の利便性向上に取り組んでいきます。

●e-ショップ オークワ



お中元・お歳暮などをオンラインで予約・注文できるサイトを開設し、全国に配送しています。また、季節の予約弁当、クリスマスケーキなどの予約商品を最寄り店舗で受け渡ししています。ネット限定商品の販売などお客様に喜んでいただける新たな展開を推進していきます。

キャッシュレスの推進

●お客様の暮らしに根付いた「オーカード」

オーカードは、お客様への感謝の気持ちをポイントで還元すること、購買データ分析を品揃えなどに活用することを主目的として1995年に導入しました。2016年には電子マネー機能付きに進化させ、クレジット機能付きのオーカードプラスと合わせると和歌山県民の約6割が利用する、暮らしに根付いたカードになっています。コロナ禍により利用が進む非接触支払いの一つとしても貢献しています。



オーカードプラス



オーカード

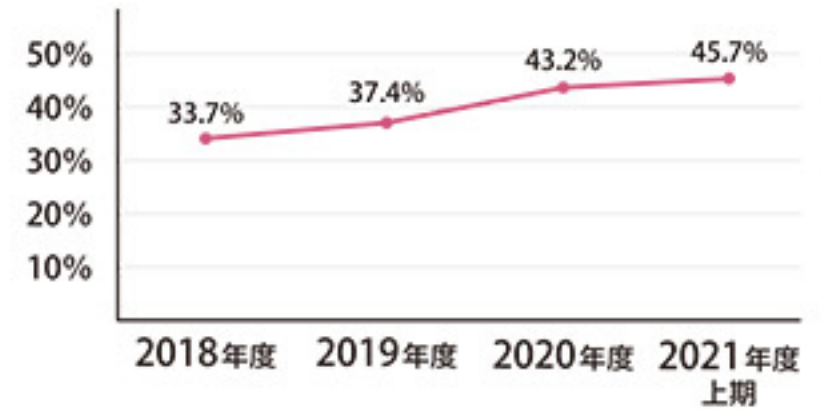
●多彩な決済サービス

交通系電子マネーを含む電子マネー決済に加え、2019年10月より様々なコード決済に対応しています。スマートフォンの操作・提示のみで決済できる非接触決済サービスを充実させ、安心・安全なお買い物環境を提供しています。

※「LINE Pay」はLINE株式会社の登録商標です。※「au PAY」はKDDI株式会社の登録商標です。※「d払い」は株式会社NTTドコモの登録商標です。※「メルペイ」は株式会社メルカリの登録商標です。※「PayPay」はZホールディングス株式会社の登録商標です。※「ゆうちょPay」は日本郵政株式会社の登録商標です。※「楽天ペイ」は楽天グループ株式会社の登録商標です。



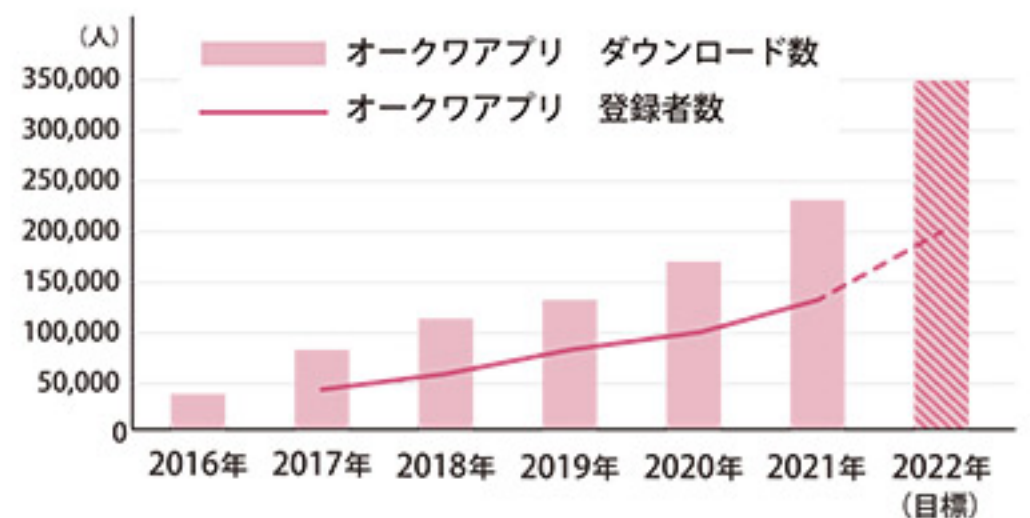
キャッシュレスの利用比率推移



●オークワアプリ

デジタル販促の中心にオークワアプリを据え、アプリ内の機能充実に取り組んでいます。各店のチラシをアプリからチェックできるWEBチラシ、ネットスーパーでの買い物、キャンペーンに簡単に応募できる「キャンタッチ」など、オークワでの買い物をより便利にお得にしていだけるコンテンツを充実させています。今後はオーカードをバーコード化し、アプリでオーカード電子マネーの決済が可能になるよう進めています。

オークワアプリダウンロード数推移



●クワノミちゃんから発信

ツイッターのオークワ公式アカウントでは、当社のキャラクタークワノミちゃんが紹介するスタイルで、キャンペーン情報や歳時記・記念日に合わせたレシピ、地域の風物詩情報などを随時発信しています。



オークワ公式キャラクター
クワノミちゃん

●オークワ公式Instagram

ツイッターで発信している写真をInstagramにも投稿し、より多くの方の目に触れることができるよう展開しています。



●オークワ公式LINE

LINE登録者数 約16万人

オーカードとの連動、チラシのチェックなど、オークワでのお買い物をより便利にするサービスとして、多くのお客様に活用いただいています。

●オークワ公式YouTubeチャンネル

お客様とのコミュニケーションを深めるツールとしてオークワ公式YouTubeチャンネル「オークワ」を開設しています。2020年からは、「オークワブランド」の惣菜やスイーツ、調味料、契約農家の特別な野菜といった様々な商品を紹介するチャンネルとして活用しています。さらに、オークワプレミアム商品を使ったレシピを公開するなど、お客様の暮らしを豊かにする情報をお届けしています。



オークワプレミアム「梅真鯛」を使用したレシピ

オークワプレミアム「薩摩もち豚」を使用したメニュー例



毎日おいしいを、もっと

地域密着企業として、これまで以上に時代のニーズに即した便利さとお買い物の楽しさ、おいしさを提供する「驚きと感動」のある店づくりを目指し、2020年2月から4つのオークワブランドの開発に取り組んでいます。オークワブランドは当社の成長戦略の柱のひとつであり、お客様の声を聞きながら魅力ある商品開発に尽力してまいります。

オークワブランドを通じて、こだわりのおいしさをお届け



オークワプレミアム

オークワプレミアムは、4つのオークワブランドの中核であり、当社が取り扱う商品の中でクオリティの頂点に立つブランドです。産地、原料、製法(製品)、味、安全・安心など、自社で定めた厳しい条件をクリアした商品のみを冠しています。カテゴリーは鮮魚・水産加工品、野菜・果物、精肉・加工肉、惣菜、スイーツなど多岐にわたり、その一例を紹介します。

●和歌山県勝浦港水揚げ生まぐろ

開発ポイント

- 延縄船漁獲生まぐろ水揚げ日本一の和歌山県勝浦港から直送
- 延縄船で漁獲された天然まぐろだけを買付け
- 職人が目利きし、もちっとした食感のまぐろを厳選

「和歌山県勝浦港水揚げ生まぐろ」は、日本一の産地、確かな場所で漁獲した原料、裏付けのある味わい、鮮度を保つチルド配送を満たし、オークワが自信を持って提供している商品で、地産地消にも一役買っています。



●寅ちゃんねぎ

開発ポイント

土壌へのこだわり、栽培方法へのこだわり、栽培面積・収穫量を拡大しないブランドへのこだわりが生み出す、肉厚で甘味のある希少な白ネギ「寅ちゃんねぎ」。山形県の限定農家がつくる逸品をオークワのバイヤーが見出し、関西ではオークワだけで販売しています。



●平飼いたまご ▶ 濃厚かすてら

開発ポイント

オークワプレミアム商品から新たなオークワプレミアム製品を生み出すリレー開発も行っています。そのひとつが岡山県の「平飼いたまご」を100%使用した「濃厚かすてら」です。国産小麦、北海道の甜菜糖を使用したもちりとした食感、やさしい甘みが特長です。



●熟成赤鶏 ▶ サラダチキン

開発ポイント

ワンランク上の鳥種 赤鶏。熟成による柔らかな肉質。ドリップが出にくい冷却工程によりジューシーでコクのある味のオークワプレミアム「熟成赤鶏」。この商品をリレー開発したのが「サラダチキン」です。低カロリー・高タンパク食品として人気のアイテムをオークワプレミアムでも展開しています。



●名物唐揚げ

開発ポイント

素材の旨味を活かしたうすくち醤油ベース。こだわり食材。カリッと食感。冷めても美味しく何個でも食べられる唐揚げは、2019年度第10回からあげグランプリ®（西日本スーパー惣菜部門）金賞を受賞しました。



●北海道ごろっとじゃがいもカレー

開発ポイント

北海道じゃがいも「マチルダ」を贅沢に使用。ごろっとした具材感。北海道産原料使用、北海道製造という「北海道」にこだわったシリーズとして展開する、新提案レトルトカレーです。



オークワマルシェ

商品を知り尽くした当社のバイヤーがおすすめるブランド「オークワマルシェ」。価格以上のこだわりをプラスした、オークワの独自性が光る付加価値商品です。



オークワマルシェ商品一例
「勝栄丸漁獲限定 炭火焼かつおたたき」



オークワセレクト

オークワの商品開発ポイントに合致したメーカー商品だけを、当社のバイヤーがセレクトした特選品ブランドです。



O-SOZAI

自社工場オーデリカファクトリーで製造しているお惣菜ブランドです。オークワ独自の視点で原材料や味付けにこだわるなど、商品開発から製品化までを一貫して手がけています。

●オーデリカファクトリー和歌山 オーデリカファクトリー安八

O-SOZAI ブランド約200アイテムの惣菜を開発・製造している自社工場オーデリカファクトリー。和歌山市と岐阜県安八市、近畿と東海の2工場体制とし、地域ごとの嗜好に対応する商品づくりを行うとともに、店舗への配送時間の短縮にも配慮しています。



ポテトサラダ



8種具材の具たっぷり中華丼



手づくり感を追求したジャガイモ攪拌機



にんにく醤油まぜそば

オークワブランドを支える自社工場・センター

●関流通センター

物流拠点であると同時に製造ラインを併設しており、オークワマルシェの人気商品「肉餃子」を製造しています。



●和歌山食品工場

1988年稼働のオークワ初の自社工場です。豆腐、こんにゃく、麺類などの日配品を良質な地下水を使用し、こだわりの製法と原材料で製造。オークワブランド商品の開発にも取り組んでいます。

共同開発PBブランド「くらしモア」

お客様に価値ある商品をお届けするために、業界トップクラスの共同仕入機構「日本流通産業株式会社（ニチリウ）」と共同で開発し、ニチリウのスケールメリットを生かした共同仕入れを行っているプライベートブランド「くらしモア」。豊富なアイテムとお手頃価格を実現しています。





地域社会のいまと未来のために

人々の暮らしを豊かにし、社会の発展に寄与することは、オークワの重要なミッションのひとつです。オークワは地域社会の一員として、地域の人々との交流を活発に図るとともに、教育や文化、スポーツ支援から災害支援まで、さまざまな活動に尽力しています。こうした貢献活動を通して、地域社会になくってはならない企業であり続けたいと考えています。

創業の地、和歌山の発展を支援する「大桑教育文化振興財団」

公益財団法人 大桑教育文化振興財団は、オークワの創業者・故大桑勇が、会社を大きくしていただいた地域への恩返しを支援というかたちで行うことを目的として、私財を投じ、1993年9月に設立しました。和歌山県の文化、教育、スポーツに関わる各種助成事業を行い、地域の発展に寄与する活動を行っています。29回目を迎えた2021年度は、50人の大学生と6名の高等学校スポーツ選手に奨学金を毎月定額を給付するほか、各種の団体・個人、学校・学園に援助や寄贈を行いました。



2021年度の活動 援助・寄贈額 合計 **3,369** 万円

文化事業

大桑文化奨励賞

文化・芸術分野で優れた活動に取り組む和歌山県ゆかりの人に贈る大桑文化奨励賞に、根来寺根来塗師・池ノ上辰山さんとピアニストの中谷政文さんが選ばれました。表彰式ではお二人の講話と中谷さんのピアノ演奏が披露されました。



池ノ上辰山様(漆芸・根来塗)▶



▲中谷 政文 様(ピアノ演奏者 エリザベート音楽大学 ピアノ専攻専任講師)

文化活動に対する援助

和歌山県下で、文化の発展・継承に取り組んでいる「無形民俗文化財保持団体」と「文化活動」に対して毎年支援を行っています。2021年度は、二川歌舞伎芝居保存会(有田川町)、印南八幡秋祭実行委員会(印南町)、有田市吹奏楽団、熊野古道全国書道展実行委員会が選ばれました。

教育事業

大学生に対する奨学金の給付

財団創設者である大桑勇は、貧しくて学校へ行きたくても行けなかった子どもの頃を思い返し、能力があっても経済的な理由で大学進学をためらっている学生を援助したいとの願いから、大学生を援助しています。2021年度は50名に対して毎月3万円を給付しました。

学校等に対する図書支援

和歌山県の図書館教育の充実を図り、園児・児童・生徒に国語力をつけるために学校図書の寄贈を行っています。今年度は、幼稚園3園、小学校3校、中学校3校、高等学校1校の計10校に寄贈しました。

教育活動援助(社会学習・文芸)

和歌山県内で行われる児童生徒の学習支援を目的とした活動の中から、精査した上で次の3つの教育活動を支援しました。

- ①和歌山県美術展覧会
主催：和歌山県
- ②中学生の「税についての作文」コンクール
主催：国税庁と全国納税貯蓄組合連合会
- ③ふるさとわかやま学習大賞
主催：和歌山県教育委員会

スポーツ事業

スポーツ関係に対する援助

スポーツの発展や子どもたちの健康づくり、地域のコミュニティに寄与する活動を援助しています。2021年度は次の2つの活動に対して援助を行いました。

- ①スポーツ選手強化費援助
- ②市町村対抗ジュニア駅伝競走大会援助

■ スポーツ支援

● オークワ女子卓球部

1997年4月に発足したオークワ女子卓球部は、2022年に創部25周年を迎えました。卓球を通じて「地域社会貢献に寄与する」ことを目標に、所属選手たちは仕事と卓球の両立をモットーに、卓球の技術だけでなく社会人としての成長を目指して活動しています。

日本卓球リーグ実業団連盟に加盟し、女子2部リーグにおいて年2回のリーグ戦の他、全日本卓球選手権大会、全日本実業団選手権大会、国民体育大会などの国内主要大会にも参戦するなど、所属選手は一人ひとりが自己研鑽を図っています。また、地域貢献の一環として、地域の中高生や卓球愛好家、卓球指導者の方などを対象に技術や戦術、指導方法といった卓球講習会を各地で開催しています。

オークワ女子卓球部は、地域の皆様や子供たち、そして卓球を愛好される方たちに、卓球を通じて、「勇気と元気と希望」を届けられるよう、「感謝と誇り」を忘れずに、積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。



写真①、② 卓球講習会の様子 写真③ 試合の様子

● ちびっこマラソン

「オークワ・S&B 杯ちびっこ健康マラソン大会」は、1985年度開始以来、毎年約700名が参加する和歌山県有数のスポーツイベントです。この大会をオークワは30年以上にわたり、次代を担う子供たちが心身ともに元気に育てて欲しいとの願いを込めて主催しています。(2020年・21年・22年はコロナ禍により中止となりました。)

● ジュニア駅伝

大桑教育文化振興財団は、2002年に始まった「和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会」に毎年協賛しています。スポーツの振興と青少年の健全育成を図るとともに、県及び各市町村の活性化に資するため、小中学生代表による駅伝競走を支援しています。(2022年はコロナ禍により中止となりました。)

■ 寄付・寄託活動

● 赤い羽根共同募金運動

「商業を通じて地域社会に貢献にする」との経営信条のもと、2005年より赤い羽根共同募金運動に協力しています。地域の自治会や小・中学生等による街頭募金活動への場所提供を、店舗にて行っています。また、売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付される「赤い羽根自販機」を、本社・社員食堂に設置しています。2017年からは、赤い羽根「寄付金付き商品」の販売も行っています。2021年度は、お中元ギフト2品、お歳暮ギフト3品を赤い羽根「寄付金付き商品」として販売しました。

● スマート行使による国連 WFP への寄託

2021年5月13日開催の第52回定時株主総会での議決権行使におけるスマート行使(はがきでの返送以外の電磁的行為)のご利用により削減できました郵送費用の一部を「国連 WFP」へ寄託しました。SDGsの目標のひとつである「飢餓をゼロに」につながる支援に役立てていただきます。

● 日本赤十字への義援金寄託

2020年「令和2年7月大雨災害」の被災地支援を目的に、オークワおよびヒラマツの店舗・事業所において義援金の募金活動を実施しました。お客様・オークワグループ従業員から寄せられました義援金1,661,546円を日本赤十字社和歌山県支部に寄託しました。

● レジ袋有料化に伴う寄付

2020年7月にスタートした「レジ袋有料化義務化」に伴いお客様にご購入いただいた有料レジ袋の収益金を、各店舗が所在する自治体の環境保全や社会貢献を目的とした基金等に、毎年寄付しています。

● 牛乳パック回収に伴う寄付

各店舗で行っている牛乳パックの回収・売却の収益を、出展地域の環境保全に役立てていただくために地方自治体(和歌山県・三重県・奈良県・大阪府・愛知県・岐阜県)へ、毎年寄付しています。

地域社会の 安全・安心のために

この活動に関する SDGs の取り組み



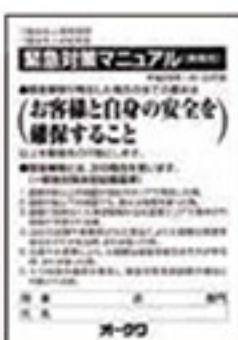
災害に備え、対策・体制を構築

出店している地域と、お客様・従業員の安全・安心のために、地震や豪雨をはじめとした自然災害発生に対する取り組みを重視しています。従業員は、万が一に備えて緊急時の行動マニュアルを常時携帯しており、自治体や企業との災害時協定などの締結を行っています。また、災害時に食品等の救援物資を提供する備えを常に準備しています。

災害時の対策

防災訓練

本社での災害対策本部設置訓練や、全事業所合同で防災訓練を実施しています。また、大規模災害が起きた場合には、行政や企業と連携し、食料品や住居関連商品等の救援物資を地域の皆様に届け支援する取り組みも行っています。



緊急対策マニュアルを常に携帯

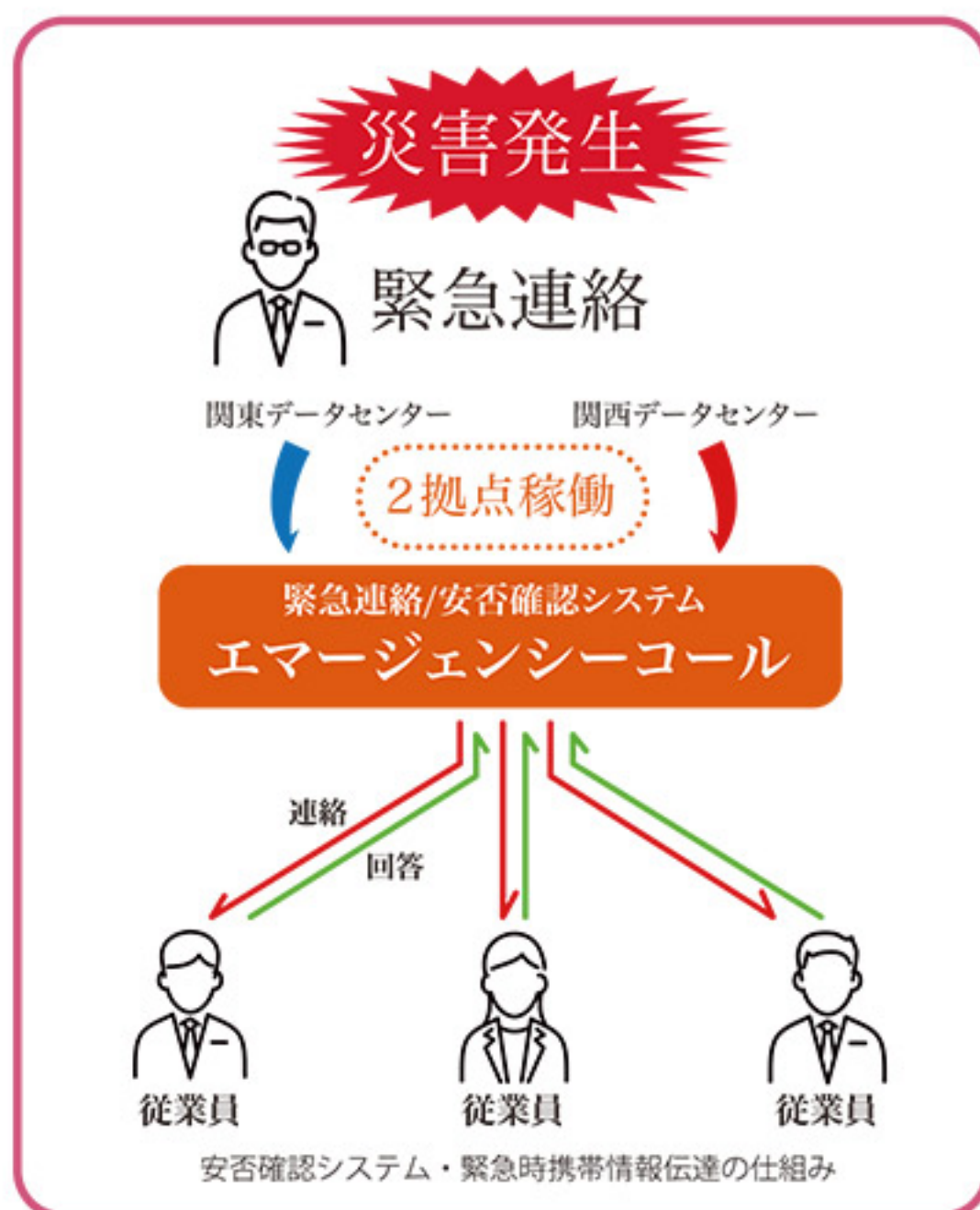
全従業員（アルバイトを含む）に携帯用の「緊急対策マニュアル」を配布し、防災意識の向上に取り組んでいます。有事の際は、適切な判断を迅速に下させるよう、マニュアルの理解、実践を防災訓練で行っています。

安否確認システム

災害発生時に、従業員の安否と、事業継続可否の状況を把握するために、2018年3月より従業員全員を対象に「安否確認システム」を導入しています。地震発生（震度5弱以上）、大津波警報、大雨特別警報等が発令された時に、自動で登録エリアの従業員に安否確認の連絡が、メール、アプリ、電話で発信されます。防災訓練時に安否確認の訓練も同時に実施し、迅速に従業員の安全確認が可能な体制を取っています。

和歌山県防災訓練に参加

毎年和歌山県が実施する防災訓練に参加しています。オークワの本業であるスーパーマーケット事業を災害時の地域支援に活かせるよう、食料品や住居関連商品等の救援物資を輸送する訓練などを行い、いざという時に備えています。



緊急時携帯情報伝達

本社や店舗、製造工場、流通などにおいて緊急事態が発生した際、店長・部課長をはじめとした従業員630台の社員用携帯を活用し、情報伝達・情報共有を行い、速やかな連携および、事態の終息に向けて一丸となって取り組む仕組みを構築しています。

災害時支援および協力協定

出店地域の自治体と災害支援協定を締結

災害時における物資や避難場所等の提供に関して、出店地域の自治体と災害支援協定を締結しています。和歌山県とは家畜伝染病発生時においても物資提供の協定を結んでいます。その他、和歌山県の和歌山放送および和歌山労災病院、大阪府の日本流通産業とも物資提供等の協定を結んでおります。

協定締結自治体

和歌山	和歌山県、和歌山市、新宮市、御坊市、海南市、田辺市
大阪	大阪府、河内長野市、河南町
奈良	奈良県
三重	三重県、熊野市、亀山市、朝日町
岐阜	美濃市、安八町、土岐市、瑞浪市
愛知	春日井市、幸田町

企業との災害協定

関西電力送配電と協定締結

関西電力送配電株式会社和歌山支社（以下、「関西電力送配電」）と、「災害時における相互支援に関する協定」を締結しています。本協定により、大規模災害発生時、オークワは関西電力送配電に対して支援物資および復旧拠点設営用のスペースを貸与します。関西電力送配電は自治体からの要請に基づき、オークワが設置した一時避難場所等への電力供給を、各設備の被害・復旧及状況を勘案し可能な範囲で実施します。

NTT西日本と協定締結

災害時、早期に通信サービスを復旧させるために、オークワと西日本電信電話株式会社和歌山支社（以下、NTT西日本）は、「災害時における駐車場の一時使用ならびに物資の有償提供に関する協定」を締結しています。これにより災害発生時、NTT西日本は工事用車両の駐車スペースとしてオークワ店舗の駐車場を使用できると共に、災害復旧要員向けの支援物資の提供を受け、速やかに工事を進めます。

安全運転の徹底に向けて

車両運行管理システム

社有車運転時の安全運転を徹底し、「安全第一」を実現するために、様々な取り組みをしています。そのひとつが「車両運行管理システム」の導入です。運転開始・終了設定、運行データなどを収集する車載端末を車両に搭載し、ドライバーが安全運転に注力できるようにしています。この車載端末で運行データを可視化・分析することにより、一人ひとりの運転特性に応じたきめ細かい未然防止型の安全運転指導も実施していきます。

安全運転講習会を毎年開催

日頃から安全運転を心がけるよう、本社所属の従業員で社有車個人貸与者および貸出用社有車の運行者を対象に、毎年1回安全運転講習会を開催しています。2021年度は「コロナ禍での飲酒運転事故防止」を主としたテーマの講習を、367名が受講しました。



お客様・従業員への緊急対応のために

AED（自動体外式除細動器）講習会

AEDを本社、店舗、センター、食品工場の全事業所に設置しています。さらに、設置していることを活かし、いざという時に救命行動ができるように、従業員を対象に胸骨圧迫や人工呼吸による心肺蘇生法の手順とAEDの使い方を学ぶ「AED講習会」を全事業所で開催しています。2022年度も全事業所での実施を計画しています。





高水準な品質管理体制を整備

お客様に安心してお買い物をしていただけるよう、商品の品質管理を徹底するための体制を整備しています。また、コロナ禍を経てお客様の安全・安心に関する意識が非常に高まっています。品質・衛生管理に継続的に取り組み、お客様に安全・安心な食生活環境を提供します。

安全・安心な商品を提供する取り組み

品質・衛生管理体制

お客様の健康を支える毎日の食事シーンに、安全・安心でおいしいものを提供することを第一義として、食品の品質・衛生管理の徹底を図っています。

1 自主基準に沿った管理基準の実施チェックと指導

- ・店舗での各部門衛生・鮮度・品質管理基準に従った自主点検実施
 - ・店舗での品質パトロールによる実施状況確認と売り場商品の鮮度・品質チェック
- ※品質パトロールとは店舗の品質管理専任従事者です

2 品質管理トレーナーによる店舗チェックと指導

- ・衛生管理については、品質トレーナーによる巡回指導及び、年2回の作業点検を実施
- ・品質管理基準の標準化に向けて集合教育を実施

3 食品工場・加工センターとの連携

- ・原料入荷から商品の出荷、店舗への到着に至るまでの温度管理の徹底
- ・自社基準による自主衛生点検と外部機関による立ち入り検査を実施
- ・各工場・センターに微生物検査室を備え、製造ライン、原料、商品の衛生管理の徹底を図る
- ・既存取引先への外部機関による工場立ち入り調査の実施

4 商品表示管理の取り組み

- 1 品質表示の適正化
 - ・国産牛肉トレーサビリティ表示と管理の確認、指導、改善
 - ・法令に沿った原料表示、産地表示、アレルギー表示
- 2 消費・賞味期限切れの防止
 - ・製造部門は、特に原材料の使用前、作業終了後での日付チェックの徹底を図る
 - ・非製造部門は、消費・賞味期限の長さに応じ、期限チェックの頻度・値引きシール等のルールを定めており、それに基づいた運用を行っている



品質検査

「食品表示検定」取得の推進

消費者が安全で身体によい食品をわかりやすく選べるように、食品の安全性や機能性に関する表示について定めた「食品表示法」が2015年に施行されました。これを受けてオークワでは、食品情報を正しく表示する専門知識を養える「食品表示検定」を従業員が取得することを積極的に推進しています。2021年度は60名が取得し、合計711名が食品表示のエキスパートとして業務に活かしています。

品質管理室の活動

オークワ全店舗の品質・衛生管理と従業員への指導や、法改正への対応等を行う「品質管理室」を設置し、食品事故の未然防止に取り組んでいます。

品質管理室の主たる活動

- ・年4回、店舗の微生物検査を実施
- ・年2回、店舗の衛生管理および、従業員の身だしなみと食材の取り扱い方法をチェック
- ・品質管理専門スタッフによる店舗巡回、従業員への指導



微生物検査室での検査の様子



生鮮部門(畜産・水産・惣菜)のスタッフは、髪の毛一本も落ちないように帽子を二重にかぶります。

食品工場・センターでの取り組み

●金属探知・X線検査機

食品製造工程での異物混入を防ぐために、金属探知・X線検査機を導入しています。食品工場・センターで製造した商品は、すべて検査を実施して出荷しています。

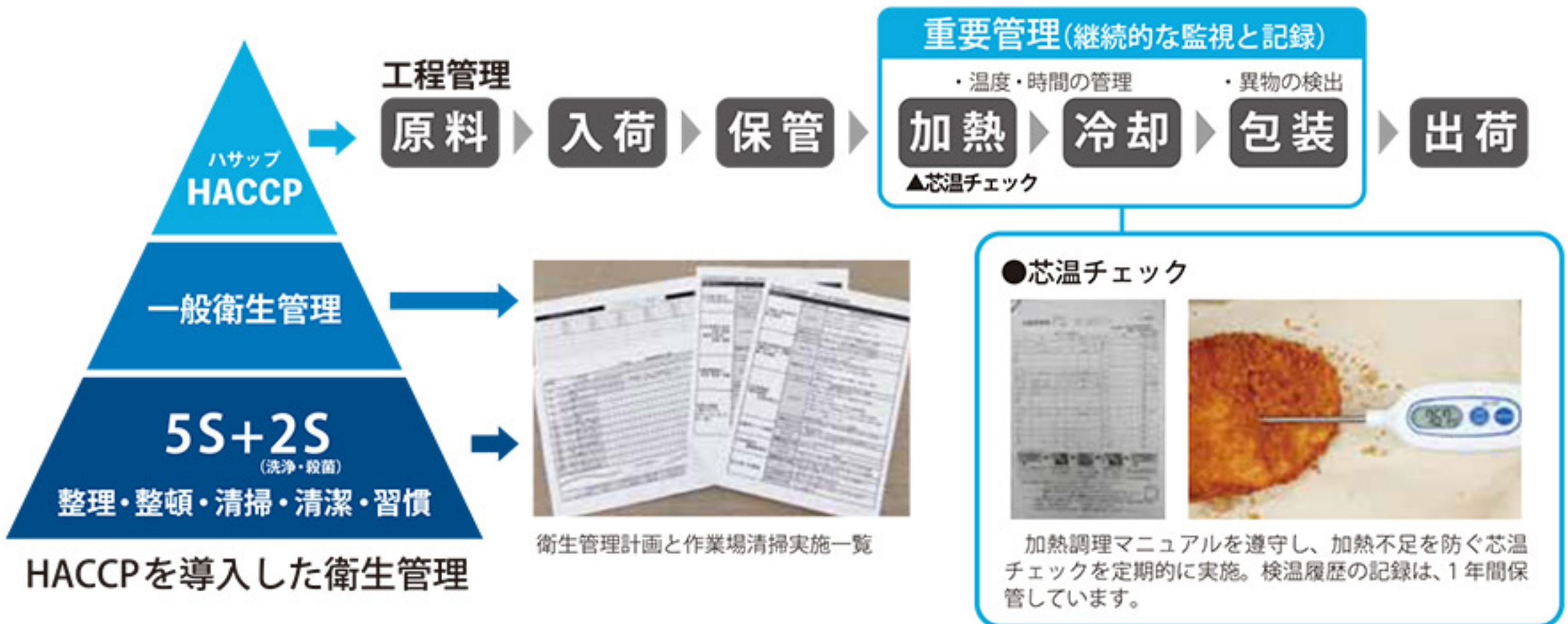


●微生物検査室

食品工場とセンターに併設している「微生物検査室」で、製造している商品の細菌検査を実施し、衛生管理を徹底しています。また、製造部門従事者の手指、調理器具、製造設備等の細菌検査も定期的に行っています。

HACCPの取り組み

2021年6月、衛生管理の徹底と対応履歴の記録を求めるHACCPが義務化されたことに伴い、全店舗でHACCPを導入した衛生管理を行っています。従業員全員が、食品の安全性に関する高い意識を持って取り組んでいます。



HACCP方式の工程管理に取り組むとともに、衛生管理の基本である5S+2Sと一般衛生管理にも重点を置いています。「個人衛生チェック表」「衛生管理計画」「作業場清掃実施一覧」に基づき実行した衛生管理記録を通じて、定期的に内容の見直しを行い、従業員全員に共有しています。

コロナ禍以降、ニューノーマルとなった感染症対策

●お客様の安全対策

入店時の検温やマスク着用、手指消毒など、お客様にもご協力いただきながら、レジ精算の列でのソーシャルディスタンスの確保、ビニールシートの設置など飛沫感染防止を継続して実施しています。非接触コミュニケーションとしてデジタルを活用した情報発信や販売手法を充実させ、安全・安心なお買い物環境を提供していきます。



レジ・SC・サッカー台での飛沫対策

●従業員の安全対策

従業員通用口においても検温と手指消毒を実施しています。また、従業員食堂や休憩室などでは間仕切りを設置し、密を避ける行動が必然になるよう取り組んでいます。本社の従業員は、オンライン会議等のシステムを活用して社内外との打ち合わせを行うなど、従業員の健康を守ることに配慮し続けています。



従業員通用口での手指消毒・検温対応



次世代へつなぐ地球環境を創造

美しい地球環境を次世代に引き継ぐことは私たちの使命と考え、事業活動を通じて、環境保全活動を推進しています。太陽光発電設備の導入などハード面での取り組みに加え、小売という事業特性を活かし、来店されるお客様とともにできる活動も推進し、脱炭素社会の実現、さらにはプラスチック使用の削減に貢献していきたいと考えています。

環境基本方針

「商業を通じて地域社会に貢献する」の経営信条のもと、商品やサービス、店舗づくりを通じて環境保全に取り組み、従業員一人ひとりが環境保全活動の実践に努め、環境負荷低減と循環型社会の構築を目指すため、以下の基本方針を定めています。

- 1 環境に配慮した安全、安心な商品とサービスの提供に取り組みます。
- 2 環境に配慮した店舗づくりを目指し、省資源、省エネルギー、再生可能エネルギー調達に取り組みます。
- 3 廃棄物の排出抑制、リサイクル活動、資源の有効活用に努めます。
- 4 地域社会と連携し、環境保全活動の推進に努めます。
- 5 従業員一人ひとりが環境に配慮した取り組みの実践に努めます。

脱炭素社会の実現 (省エネルギー・CO2 排出削減の取り組み)

●太陽光発電設備の設置・稼働

再生可能エネルギーを自社調達する手段のひとつに太陽光発電があります。オークワでは2013年7月、スーパーセンターオークワ美濃インター店において太陽光発電設備の設置、稼働をスタートしました。2022年2月現在、設置、稼働事業所は10ヶ所にまで拡大しており、年間発電量は約394万KWhとなっています。さらに2022年、スーパーセンターオークワ河南店において、関西電力と太陽光オンサイトの契約を締結し、年間発電量約63万KWを見込んだ発電所の稼働をスタートさせました。今後も再生可能エネルギーの活用拡大に向けた取り組みを推し進めていきます。



スーパーセンターオークワ河南店屋上の太陽光パネル

太陽光発電設備導入店舗(施設)と発電出力 (抜粋)

店舗名	スーパーセンターオークワ美濃インター店	東海食品センター	和歌山物流センター	PCセンター(和歌山食品センター)	関流通センター
運転開始年月	2013年7月	2014年6月	2015年1月	2015年1月	2015年9月
発電出力	1,818枚×255W= 463.59Kw	1,152枚×275W= 316.80Kw	1,920枚×275W= 528.00Kw	896枚×275W= 246.40Kw	2,376枚×275W= 653.40Kw
店舗名	スーパーセンターオークワ関店	スーパーセンターオークワ田原本インター店	本社・本社中島店	スーパーセンターオークワ和泉納花店	スーパーセンターオークワ河南店
運転開始年月	2018年10月	2019年9月	2019年11月	2021年2月	2022年3月
発電出力	1,080枚×360W= 388.80Kw	1,932枚×300W= 579.80Kw	480枚×230W= 110.40Kw	1,500枚×360W= 540.00Kw	1,008枚×540W= 544.32Kw

●次年度(2022年度)は、数店舗導入の計画あり。

●再生可能エネルギーへの切り替え

太陽光発電設備の設置・稼働の取り組みに加えて、再生可能エネルギー電力の導入を進めています。2021年4月から「本社」・「本社中島店」で、関西電力が提供する「再エネ ECO プランプレミアム*1」を活用し、2019年11月より稼働の自家消費型太陽光発電所給電量と併せて、事業活動に使用する電力の100%を実質的に再生可能エネルギーで調達しています。

再エネ使用施設・店舗	自家消費太陽光発電使用率	再エネ導入率	再エネ使用率合計
本社・本社中島店	15%	85%	100%
本社研修センター	0%	100%	100%
オークワ和泉納花店	25%	25%	50%
オークワ関店	15%	35%	50%

再エネ率
100%

本社・本社中島店/本社研修センター

約941t CO₂削減
(2020年度比)

再エネ率
50%

オークワ和泉納花店/オークワ関店

約530t CO₂削減
(2020年度比)

*1: 発電時にCO₂を排出しない再生エネルギー電源（水力発電等）の環境価値を活用し、実質的に再生可能エネルギー100%の電気を使用することができる、関西電力株式会社が提供するサービスです。

●省エネを見える化するシステムを導入

当社は24時間営業店舗が多いこともあり、環境保全とコストの両面からより効率的に省エネができる方策を模索してきました。2019年、関西電力が提供する、電力の使用状況に適した省エネ方策を「見える化」するシステム「エナッジ」をまずは10店舗に導入しました。導入わずか2ヶ月で顕著な電力使用量の削減をみることができ、半年後には100店舗に拡張。2022年2月現在135店舗に至っています。見える化の効果は、使用量だけにとどまらず、従業員の節電に対する意識改革につながっています。店舗で働く一人ひとりが省エネについて考え、率先して行動するようになっています。

店舗用タブレット画面が
省エネ行動を応援!



店舗用画面イメージ

●包材印刷に「ボタニカルインキ*2」を使用

自社工場「オーデリカファクトリー」で製造し、各店舗で販売している「三角おにぎり」の包材の印刷インクをCO₂排出の抑制につながるボタニカルインキ*2に、2021年12月から順次切り替えています。2022年2月現在、約80%*まで切り替えが進み、他の食品包材の見直しも随時行っていきます。

*2: ボタニカルインキは、植物由来成分をインキ固形分原料中10%以上使用したインキです。サカタインクス株式会社の登録商標です。

※2022年4月中旬には100%切り替わる予定です。

●スポGOMI大会に参加

ゴミ拾いとスポーツを融合したクリーンアップ運動として、国内外で開催され注目を集めている「スポGOMI大会」が、2021年10月23日に和歌山市で開催され、オークワもエコ活動の一環として参加しました。制限時間内に、決められたエリア内で拾ったゴミの量と質で競い合う大会で、チームオークワは2位という成績を収め、地元の環境美化に貢献しました。



節水の取り組み

限りある地球資源の保全およびエネルギーの使用量削減の観点から、2010年より水道蛇口への節水器設置を推進しています。2022年2月現在135の店舗・事業所に至っております。



資源循環の取り組み

プラスチック使用削減を推進

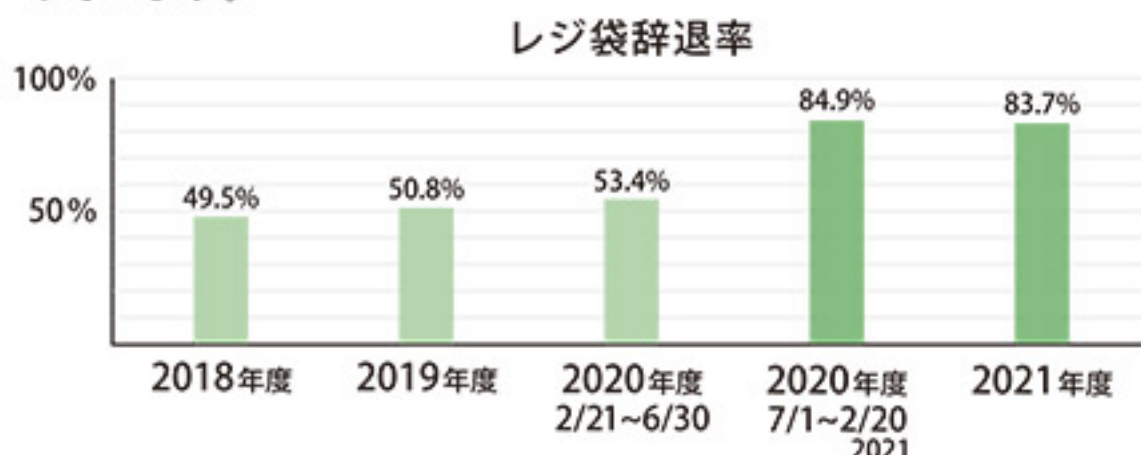
●ペットボトル減容機を実験導入

環境負荷低減とリサイクル資源の有効活用に寄与することを目的に、全147店舗(2022年2月21日現在)にて廃ペットボトルの回収を実施しています。さらに、プラスチックごみ問題の解決、資源の有効活用と低炭素リサイクル実現のために、2021年10月から河内長野店とオーストリート橋本彩の台店の2店舗に「ペットボトル減容機」を実験導入しました。本実験は、2022年春に施行される「プラスチック資源循環促進法」に向けた取り組みで、リサイクルスキームの課題抽出と運用効率等の検証を行った後、順次導入拡大していきます。



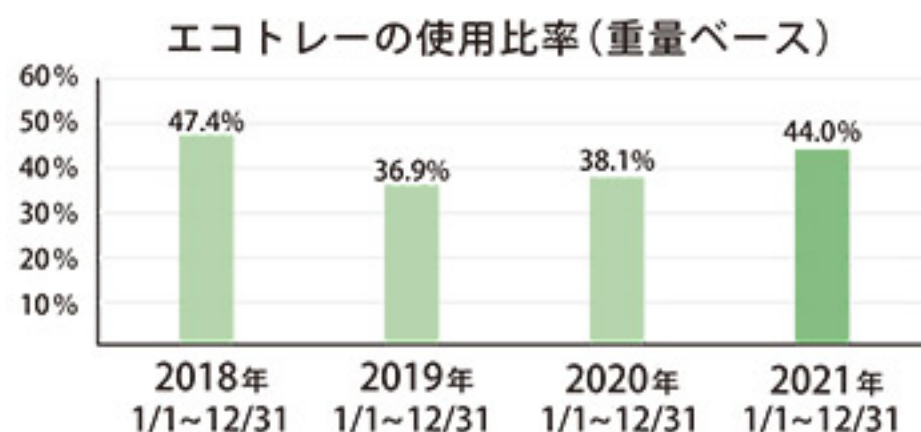
●レジ袋有料化

プラスチックごみの削減を目的に、2020年7月よりプラスチック製買い物袋有料化が義務化されました。オークワにおいても全店舗でレジ袋有料化を実施すると同時に、お客様にマイバックのご利用を促し、より一層のプラスチック削減を推し進めています。



●食品トレーの回収とエコトレーの使用

回収ボックスを店頭で設置し、食品トレーの回収を行っています。また、回収トレー等からつくられたエコトレー・エコAPETを採用し、食品トレーリサイクルの取り組みに協力し、CO₂排出削減に取り組んでいます。



資源回収の推進

●リサイクル資源店頭回収

牛乳パック、食品トレー、ペットボトルを随時回収するボックスを店頭で設置。お客様にエコ活動を意識していただく啓発にもつながっています。



●リサイクルでポイントが貯まる ecoひろば・エコぽす

オークワでのお買い物ついでに新聞紙などをリサイクルでき、しかもポイントが貯まる古紙回収機を設置。紙類の資源回収も積極的に取り組んでいます。ecoひろば17店舗、エコぽす26店舗に設置しています。(2022年2月21日現在)



食品ロス削減の取り組み

●和歌山県下の子ども食堂にお米を寄贈

食品ロス削減と子どもたちへの支援を目的として、2021年8月、オークワと社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会(以下「県社協」)は、「和歌山県における地域福祉活動の推進に係る連携・協力に関する協定」を締結しました。その活動の一環として、販売期限を迎えた精米を県社協に寄贈。県社協より和歌山県内の子ども食堂や児童福祉施設へ届けるリレーを行っています。

2021年度お米寄贈量 — **1,286.8kg**

(2021年8月1日~2022年2月20日)



・SDGsへの貢献
(地域発展のために、地球のために)
・食品ロスの削減と
資源の有効活用



30市町村社協・県社協

・地域福祉の推進
・生活に困難を抱えた
個人・世帯の支援等



デジタル接客ツールの整備と業務改革の両輪で推進

デジタル技術を活用することにより、お客様がオークワの実店舗とネット店舗の垣根を意識することなく生活シーンに合わせたお買い物がより便利に行える場面を提供し、利便性の向上およびお客様との密接な関係づくりを行います。また、オークワで働く従業員の働き方を変革することで、生産性の向上と働きがいのある職場づくりを目指します。

お客様との密接な関係づくり

お客様の利便性向上

- ・生産手段の多様化
- ・身近にある端末（スマートフォン）の活用

お客様への情報発信

商品自社ブランドの情報発信

実店舗とネット店舗の利便性向上

会員の統合

働きがいのある職場づくり

生産性向上

(接客・商品化売場づくりにシフト)

- ・発注業務
- ・レジ業務
- ・売場管理業務
- ・申請業務の簡素化

学びの環境整備

- ・作業場でのマニュアル活用
- ・商品知識の習得
- ・体系立った教育

オークワDXの取り組み

2019年より「IT戦略推進プロジェクト」を立ち上げ、組織横断で課題抽出および進捗確認を行い、全社的な取り組みとしてDXを推進しています。同時に、人材を育成し自社開発の強化に取り組んでいます。

発注業務の効率化

2014年より非生鮮部門アイテムに対して自動発注システムシノプスを導入。2018年にはAIによる客数予測・売上予測を開始しシノプスの精度向上に活用することで、発注業務の効率化をさらに高めています。その後、農産加工品と水産加工品にも自動発注を拡大し、自動発注品対象品目は12,000品目に及んでいます。また、畜産部門においては週間発注のAI化を導入し、一層の効率化を進めています。

●非生鮮部門 全品目自動発注 全店に導入

導入前と2014年比較 **70%** 発注時間削減

●農産加工品 約300アイテム自動発注

(14店舗に導入(2021年8月20日現在))

年間約 **2,600** 時間 発注時間削減

●水産加工品 自動発注アイテム拡大中

(77店舗に導入(2021年8月20日現在))

年間約 **34,000** 時間 発注時間削減

●畜産部門 週間発注システム導入

(60店舗に導入(2021年8月20日現在))

年間約 **26,000** 時間 発注時間削減

生鮮部門においては、さらにAI化の研究を進めているところで、今後、惣菜の原料発注等についても自動発注に切り替えていく方針です。

店頭での効率化

店頭においては、お客様の利便性と従業員の業務効率をどちらも向上するよう、デジタル技術の導入に取り組んでいます。

●電子棚札の導入

価格エラーに対する処理、プライスカードの交換、価格チェックの作業削減を図れる電子札導入を、本社中島店と貴志川店にて実験導入しています。

●レジ業務の効率化(スマホレジの導入)

お客様のスマートフォンで商品をスキャン・決済できるスマホレジを2022年2月より本社中島店に実験導入し、スマートショッピングと店舗運用効率化の推進に取り組んでいます。

●オーカード(会員カード)のスマートフォン化

オーカード・ネットスーパー・e-ショップ会員統合による利便性の向上を目指して、システム刷新を進めています。また、オーカードのスマートフォンアプリでの利用化も推進します。

和歌山大学との取り組み

2018年より和歌山大学と取り組んできた、大学生による「オークワの販売データを活用した課題解決型学習」。毎年先入観のない様々な視点でデータ分析がなされ、在庫ロス削減の糸口やロス増加に向かう構造の解明につながっています。この取り組みが、文部科学省に認められ、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定されました。



働きがいと働きやすさの実現に向けて

人材は、最大の経営資源です。従業員の誰もが仕事を通じて自己実現を叶えられるようスキルアップ強化に加え、多様な価値観をもつ従業員一人ひとりが働きやすく、個人の能力を十分に発揮できる環境や仕組みづくりに取り組んでいます。

人権基本方針

オークワの役職員及び全てのパートナー、アルバイト全員が、人権への理解を深めこの基本方針に基づき、人権が尊重される社会の実現を目指すため、以下の基本方針を定めています。

1 人権に関する基本的な考え

国際連合の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、「国際人権章典」及び「労働における基本原則及び権利に関するILO宣言」等の人権に関する国際規範を支持・尊重し、実践していきます。

2 人権デューデリジェンスの実施

事業活動をする中で、社内はもとよりそのサプライチェーン上の人権への負の影響を特定するため、人権デューデリジェンスの仕組みを構築及び実践するように努めます。オークワの活動が人権への負の影響を引き起こしたと、または助長したことが明らかになった場合には、そのような影響を防止し、または軽減するように努めます。

ダイバーシティの推進

女性活躍推進

●女性管理職登用

現在、女性店長が3名、女性のバイヤーおよびアシスタントバイヤーが計9名就任しています。女性の意見、女性ならではの視点を取り入れることで、多様化するお客様ニーズに柔軟に対応するとともにサービスの向上に努め、お客様から支持される店舗運営を推進していきます。

今後、女性管理職が活躍することにより、女性が働く上でのロールモデルが増え、オークワで働くモチベーションアップにつながっていくと考えています。

●女性幹部育成研修

女性従業員アンケートを実施しています。アンケートを通じて、「女性が活躍できる職場環境には何が必要であるか」、「将来目指す姿」など、女性がライフステージの変化にあっても一人ひとりの理想像に向かって働き続けられるオークワであるための課題を抽出しています。将来像への質問には、多くの方が役職に就いて活躍したいと回答しており、定期的な年次研修や選抜研修を通じて、将来の女性幹部を育成していきます。

仕事と育児の両立推進

妊娠・出産を控えた女性従業員への身体への負担を考慮した配置転換や、育児休業からの復職後の時短勤務への対応、転勤配慮制度など、仕事と育児の両立ができるようサポートしています。また、女性の育児休業100%取得はもちろんのこと、男性が育児休業を取得することが当たり前な企業を目指して、部署を超えたサポート体制を整えていきます。

多様な雇用の推進

●障がい者雇用

現在263名の障がい者の方が店舗や工場、センターなどで仕事に従事しています。障がい者雇用率は2.3%（2022年2月20日時点）で、法定雇用率をクリアしています。

●外国人雇用の推進

ベトナム人技能実習生約50名が、オーデリカファクトリーで製造の技術や知識を学んでいます。住まいや生活支援を整え、日本での生活に慣れ、仕事に集中できるよう配慮しています。

働きやすさの実現に向けて

ワークライフバランスの推進

●営業時間の見直し・店舗休業日の設定実験

従来オークワでは、お客様の利便性のために年中無休を基本に24時間営業を進めてきました。ただ、昨今の社会情勢やお客様のお買い物動向の変化、特に従業員のワークライフバランスの推進による働きやすさの実現に向けて、営業時間の見直し、店舗休業日の設定を進めています。2021年度は6店舗の24時間営業を取り止め、2022年2月現在20店舗が24時間営業実施しており、今後も見直しを進めていきます。お正月は、1/1休業店舗31店舗（20年度は15店舗）、新たに1/1、2連続休業店舗11店舗（20年度は0店舗）と休業店舗を拡大しています。また、店舗休業日の実験を進め、2021年度は7回、計36店舗で店舗休業日を設定し、状況・課題の把握を行い、今後の店舗休業日の設定の検討をしています。今後もお客様の利便性を損なわない範囲で、営業時間の見直し、店舗休業日の設定を進めてまいります。

●変形労働時間制

変形労働時間制は、1日6h～10hの労働時間を設定し、月間で所定労働時間になるようシフト組みをする制度です。スーパーマーケットでは、曜日により繁閑があり、行事などにより忙しくなる場合もあります。そこで、変形労働時間を活用し、繁閑にあわせた労働時間を設定することで、効率的、効果的な人員配置ができ、総労働時間の削減にもつながっています。

●時間有休制度

時間有休制度は、年次有給休暇のうち年5日（40時間）を限度に1時間単位で有給を取得できる制度です。この制度により、有給休暇の取得を推進するとともに、仕事とプライベートの調整に役立っています。

従業員の暮らし、健康をサポート

従業員の身体と心の健康サポートのため、正社員だけでなくパート社員全員を対象に健康診断を実施しています。また、生活習慣病予防健康受診の補助金制度を設け、受診率向上に取り組んでいます。福利厚生においては、アルバイトを含む全従業員が、レジャー、スポーツ、育児・介護サービスなどを優待価格で利用できる福利厚生サイト「オークラブ」を開発。誰もが気軽に利用できる仕組みを整えています。

●和歌山健康推進事業所

従業員の健康支援の一環として、和歌山県が事業所を対象に実施している「わかやま健康づくりチャレンジ運動」に参加しています。所定の取り組みメニューをクリアし、健康づくりの取り組みが優れていると認められた事業所に授与される「和歌山県健康推進事業所」に、2021年9月認定されました。

人材育成 — サービススキルの向上を目指して —

●教育推進室の活動

お客様の要望に応えるサービスおよび商品の提供ができる従業員の育成を目的とし、2020年に教育推進室を新設しました。部門ごとの専門知識や技術習得ができるよう、経験年次に合わせた教育内容を立案、指導しています。集合教育は、本社隣接の研修センターを活用し、個別教育は店舗にて教育体制を確立しています。



コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する基本方針

経営環境の変化に迅速に対応できる組織体制を構築し、上場企業として公正かつ透明性をもって経営を行うことをコーポレート・ガバナンスの基本的な方針としています。

コーポレート・ガバナンス体制

●取締役会

経営上の最高意思決定機関である取締役会を毎月1回開催(必要に応じて臨時取締役会も開催)しています。取締役会は、取締役12名と監査役4名で、うち社外取締役2名、社外監査役2名の体制としており、客観性・透明性の確保を図っています。取締役会は、知識、経験および能力等のバランスに配慮しつつ、女性取締役や国際性を有する取締役の必要性も踏まえ、適切と思われる人員で構成することを基本としています。

●監査役会

監査役および監査役会は、代表取締役、取締役と適宜会合をもち、会社に対処すべき課題、会社を取り巻くリスク等について意見交換し、経営の監視機能の面では十分に機能する体制を整えています。また、社外監査役2名による社外的・中立的視点のもと取締役(社取締役2名含む)の職務執行ならびに当社業務や財政状況の監査を行っています。

※尚、2022年5月開催予定の第53回定時株主総会の承認を条件として「監査役会設置会社」から「監査等委員会設置会社」に移行することが決定しています。

●オークワ倫理ホットライン(内部通報制度)

法令遵守と企業倫理の確立のための制度として2003年2月21日に「オークワ倫理委員会」を発足させ、「倫理委員会運営規程」の制定と「オークワ倫理ホットライン」を設立し、オークワ全従業員を対象とした内部通報制度を施行し、コンプライアンス経営の推進を図っています。内部通報制度は、企業不祥事に発展しかねない行為を早期発見し、是正する自浄作用を働かせるための制度です。通報の対象は、法令・規則や各諸規定に反する行為にとどまらず、オークワのブランドを傷つける行為も対象となります。受け取った通報については「オークワ倫理委員会」にて真相究明のための調査を行った上で、適切な是正措置を講じます。また、通報する従業員等がいかなる不利益も受けないように制度を整備しています。ただし、通報内容の正確な調査と公正な制度管理のため、原則的に匿名の通報は受け付けいたしません。当社は、流通小売業という性格上、違法・不正行為が、地域のお客様の生活に直接不利益を及ぼすことを常に意識し、日々の営業活動を行っています。

●内部監査室

社内には、社長直属として内部監査室を設置しており、当社ならびに子会社に対する業務監査と会計監査ができる体制になっています。

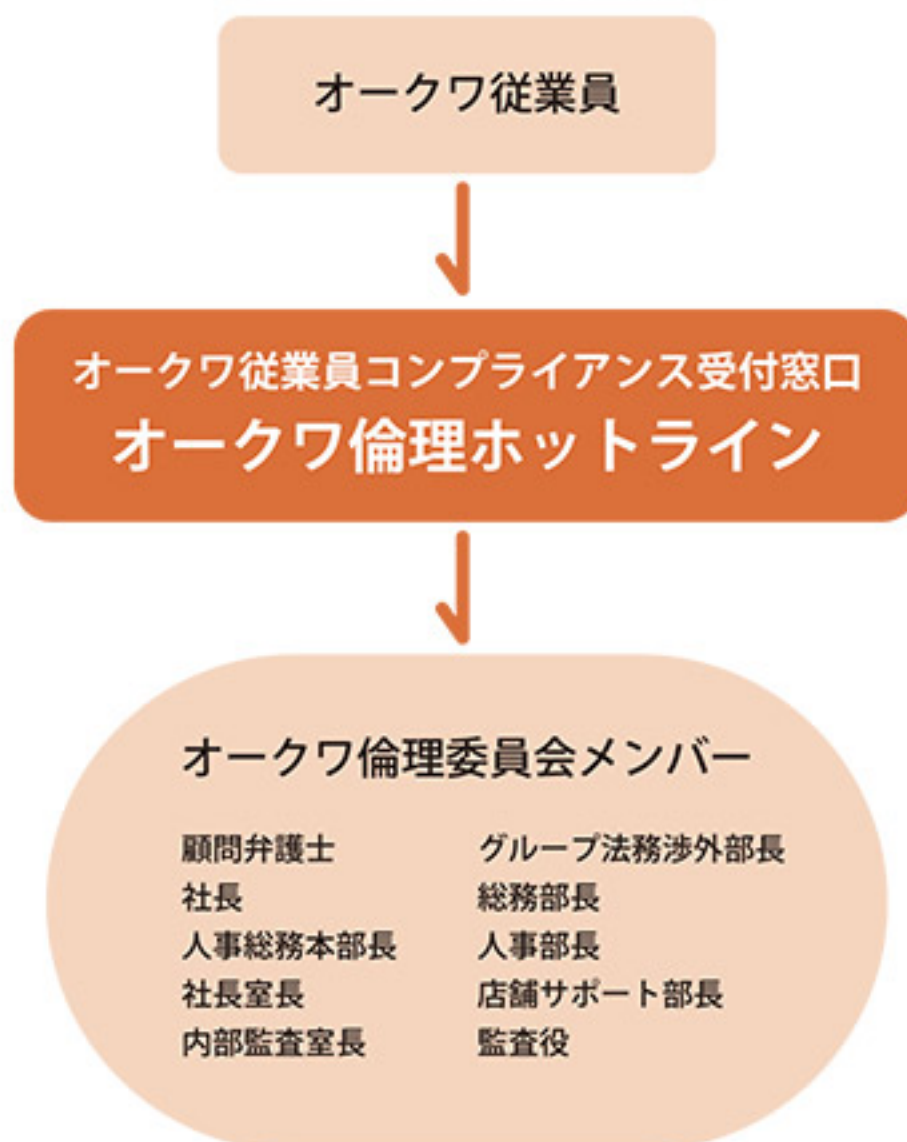
●経営会議

代表取締役を含めた取締役と監査役(常勤)と組織の幹部による経営会議を毎週1回開催しています。週ごとの販売実績や計画状況の確認と、業務全般に関する取り組み事項について報告がなされ、効果的な業務推進を図っています。

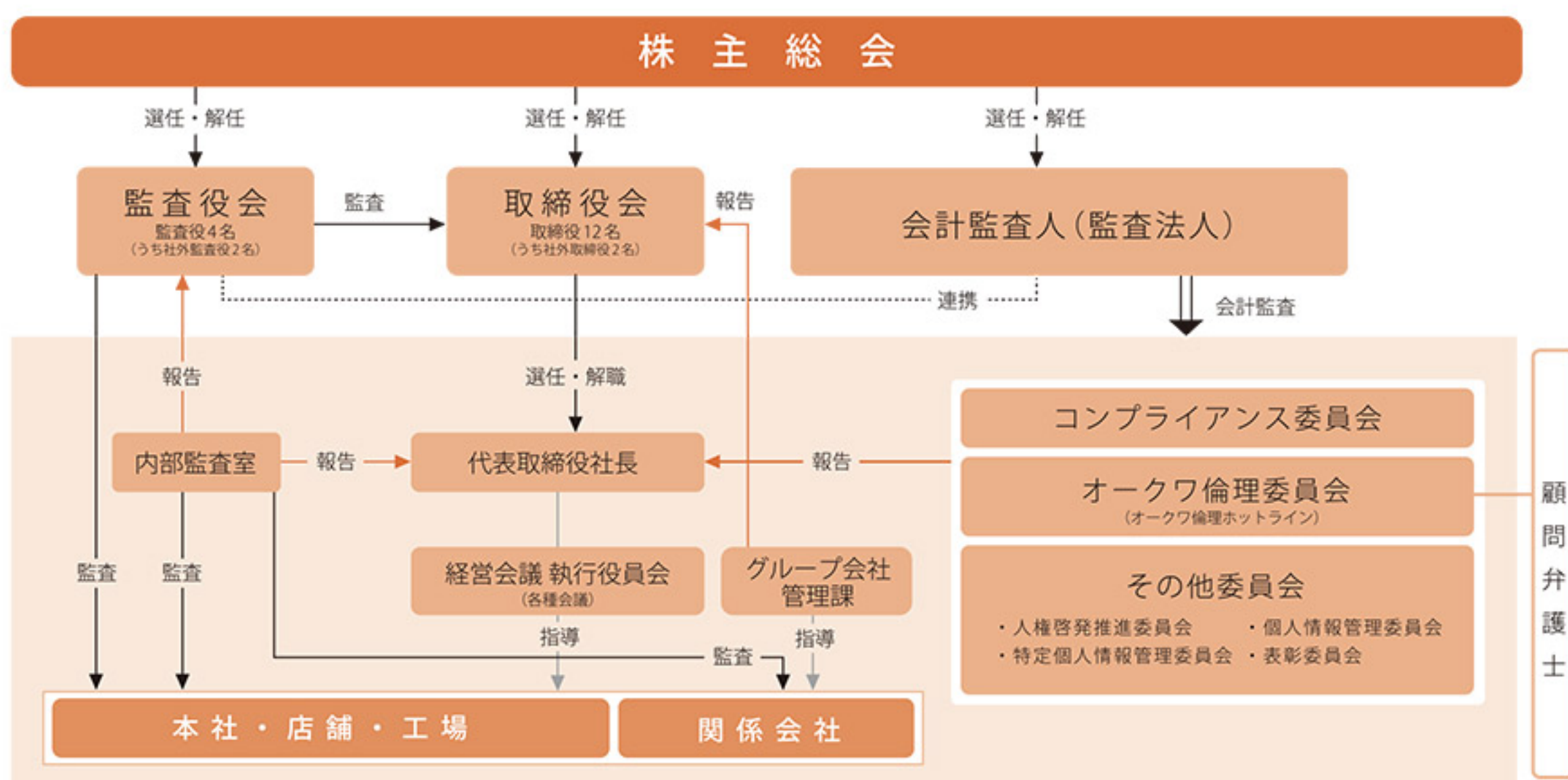
●コンプライアンス委員会

社長を委員長とした「コンプライアンス委員会」を設置し、企業活動の中で起こりうる様々な経営リスクを回避しています。さらに、内部統制・リスク管理体制・内部監査体制に関する事項を審議し、決定する機能も果たしています。

・倫理ホットライン 組織体制図



●コーポレート・ガバナンス体制



●取締役の実効性評価

取締役会の実効性に関する自己評価を少なくとも年1回行い、その結果を取締役会で分析・評価します。

アンケート

直近では2021年3月に取締役会の構成員であるすべての取締役・監査役を対象にアンケートを実施しました。回答・集計は、外部機関を活用することで匿名性を確保し、個々の意見を求めやすい方法で実施しています。

評価・結果分析

集計結果を踏まえ、2021年5月の取締役会において、当社取締役の強みに関する理解を深め、機能向上を図るとともに、企業価値の向上のための経営戦略上の優先度について共有しました。また議論の結果、当社取締役会は実効性が確保されているものと結論付けられました。

課題

任意の指名報酬委員会設置に向けた準備を進めること、および更なる女性役員の登用につながる女性幹部社員の育成を計画的に進めていくことの重要性を確認しました。取締役会の機能の更なる向上、議論の活性化に向けた課題も共有しました。

リスクマネジメント

●個人情報保護に関する取り組み

個人情報保護法に関しては、「個人情報管理委員会」を設置し、「情報管理規程」にて情報管理体制を構築し、従業員には「個人情報保護ポケットマニュアル」を配布し、周知徹底を図っています。

●災害時の取り組み

天災その他の危機管理体制については、「緊急対策マニュアル」を従業員に配布し、発生時の対応、ルールを徹底し、緊急時情報通信連絡網により即座に経営トップをはじめ、各取締役等の経営幹部に情報の伝達・報告・指示を行える体制をとっています。また、地震・津波等の天災対策としては、全社的防災教育および年4回の想定訓練を企画・実施しています。

●店舗で発生する事件・事故に関する取り組み

日常的に発生する各店舗の事件・事故等には、「事件・事故報告」等の社内グループウェアにより、迅速に対応・解決ができる体制をとっています。

人材・社員に関するデータ Employees/Human Capital

人員構成 Personnel and Composition									
大項目 Category	小項目 Sub-category	単体/連結 Boundary	単位 Unit	2018年2月期 FY2/2018	2019年2月期 FY2/2019	2020年2月期 FY2/2020	2021年2月期 FY2/2021	2022年2月期 FY2/2022	
社員 Members (employees)	人数 Number of employees	男 Male	連結 Group	人 Persons	1,596	1,625	1,631	1,634	1,637
		女 Female	連結	人	348	385	411	440	476
		計 Total	連結	人	1,944	2,010	2,042	2,074	2,113
	男女比 gender composition	男 Male	連結	%	82.1	80.8	79.9	78.8	77.5
		女 Female	連結	%	17.9	19.2	20.1	21.2	22.5
	人数 Number of employees	男 Male	単体 Non-consolidated basis	人 Persons	1,498	1,497	1,512	1,527	1,526
		女 Female	単体	人	335	361	374	399	422
		計 Total	単体	人	1,833	1,858	1,886	1,926	1,948
	男女比 gender composition	男 Male	単体	%	81.7	80.6	80.2	79.3	78.3
		女 Female	単体	%	18.3	19.4	19.8	20.7	21.7
	平均勤続年数 Average years of service	男 Male	単体	年 Years	18.9	19.2	19.7	20.2	19.5
		女 Female	単体	年	13.2	13.0	13.0	13.0	12.6
		計 Total	単体	年	17.8	18.1	18.4	18.5	18.1
	平均年齢 Average age	男 Male	単体	歳 age	48.1	48.3	48.7	49.0	48.7
		女 Female	単体	歳	42.7	42.5	42.3	42.0	41.2
		計 Total	単体	歳	47.0	47.3	47.5	47.5	47.3
	パートタイム 従業員数 Number of part-time employees	男 Male	単体	人 Persons	1,158	1,159	1,174	1,197	1,209
		女 Female	単体	人	6,830	6,805	6,797	6,852	6,778
計 Total		単体	人	7,988	7,963	7,971	8,049	7,987	
社員への登用人数 Numbers of those promoted to the status of full-time employees	男 Male	単体	人	2	10	4	6	5	
	女 Female	単体	人	7	8	4	5	2	
	計 Total	単体	人	9	18	8	11	7	
障がい者雇用者数 Number of employees with disabilities		単体	人	186	198	204	197	229	
障がい者雇用率 % of employees with disabilities		単体	%	2.16	2.25	2.44	2.31	2.33	
外国人技能実習生 受入人数 Foreign technical intern trainee receiving	男 Male	単体	人 Persons	0	0	0	0	0	
	女 Female	単体	人	0	3	34	49	48	
	計 Total	単体	人	0	3	34	49	48	
女性社員比率 % of female members		単体	%	18.3	19.4	19.8	20.7	21.7	
女性管理職数 ※1 Number of female members in managerial positions		単体	人 Persons	1	1	1	1	1	
女性リーダー数 ※2 Number of female leaders		単体	人 Persons	6	8	6	6	7	
		単体	%	2.6	3.4	2.7	2.7	3.1	
役職者数 Number of members with job titles	執行役員(取締役除く) Executive officers	男 Male	単体	人 Persons	1	1	1	4	1
		女 Female	単体	人	0	0	0	0	0
	部長以上(執行役員除く) Departmental heads or above	男 Male	単体	人	17	16	16	17	20
		女 Female	単体	人	0	0	0	0	0
課長以上 Manager positions	男 Male	単体	人	228	226	215	215	217	
	女 Female	単体	人	6	8	6	6	6	

※1 「女性管理職数」：部長職以上の管理職、執行役員・取締役を含む ※2 「女性リーダー数」：課長職以上の管理職

年代別社員数 Number of members(employees) by age group							単体 Non-consolidated basis	
	年代 Age	男性 Male		女性 Female		合計 Total		
		単位 人	%	人	%	人	%	
2021年2月期末時点 As of the end of FY2/2021	30歳未満 Under30	122	6.4	120	6.2	242	12.6	
	30～39	175	9.1	36	1.9	211	11.0	
	40～49	403	20.9	98	5.1	501	26.0	
	50～59	595	30.9	116	6.0	711	36.9	
	60以上 60or older	232	12.0	29	1.5	261	13.5	
	合計 Total	1,527	79.3	399	20.7	1,926	100.0	
2022年2月期末時点 As of the end of FY2/2022	30歳未満 Under30	139	7.1	128	6.6	267	13.7	
	30～39	162	8.3	40	2.0	202	10.3	
	40～49	372	19.1	89	4.6	461	23.7	
	50～59	604	31.0	134	6.9	738	37.9	
	60以上 60or older	249	12.8	31	1.6	280	14.4	
	合計 Total	1,526	78.3	422	21.7	1,948	100.0	

採用 Recruitment								
大項目 Category	小項目 Sub-category	単体 / 連結 Boundary	単位 Unit	2018年2月期 FY2/2018	2019年2月期 FY2/2019	2020年2月期 FY2/2020	2021年2月期 FY2/2021	2022年2月期 FY2/2022
新規(学卒者採用者数) Number of new recruits (new graduates)	男 Male	単体 Non-consolidated basis	人 Persons	26	25	30	27	26
	女 Female	単体	人	22	27	36	36	26
	計 Total	単体	人	48	52	66	63	52
	女性比率 % of female members	単体	%	45.8	51.9	54.5	57.1	50.0
3年後在籍率 Of which, the retention ratio three years after recruitment	男 Male	単体	人 Persons	22	22	27	-	-
	女 Female	単体	人	11	18	25	-	-
	計 Total	単体	人	33	40	52	-	-
			%	68.8	76.9	78.8	-	-
中途採用者 Number of members recruited mid-career	男 Male	単体	人 Persons	44	42	25	20	33
	女 Female	単体	人	13	11	11	8	10
	計 Total	単体	人	57	53	36	28	43
	女性比率 % of female members	単体	%	22.8	20.8	30.6	28.6	23.3
社員離職者数 No. of members who left the company mid-career	男 Male	単体	人 Persons	86	70	55	48	60
	女 Female	単体	人	27	23	40	29	16
	計 Total	単体	人	113	93	95	77	76
定年再雇用希望者 Members who wish to be reemployed after the mandatory retirement age		単体	人	39	41	27	24	25
希望者のうち採用者数 Number of members who were employed from among applicants		単体	人	39	41	27	24	25
定年再雇用率 Ratio of Reemployment rate after mandatory retirement age		単体	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

報酬 Compensation								
大項目 Category	単体 / 連結 Boundary	単位 Unit	2018年2月期 FY2/2018	2019年2月期 FY2/2019	2020年2月期 FY2/2020	2021年2月期 FY2/2021	2022年2月期 FY2/2022	
社員の給与及び手当の総額 Total of members salary and benefits ※賞与を含む年間給与平均額	単体 Non-consolidated basis	千円 thousand Yen	4,962	4,973	5,038	5,253	5,370	

労働安全衛生 Health and Safety								
大項目 Category	小項目 Sub-category	単体 / 連結 Boundary	単位 Unit	2018年2月期 FY2/2018	2019年2月期 FY2/2019	2020年2月期 FY2/2020	2021年2月期 FY2/2021	2022年2月期 FY2/2022
労働災害者数 Number of work-related injuries ※重度:休業4日以上、軽度:休業4日以内	死亡 Death	単体 Non-consolidated basis	人 Persons	0	0	0	0	0
	重度 Severe	単体	人	46	60	59	59	58
	軽度 Mild	単体	人	136	138	158	111	120
休職者・長期欠勤者 Employees on leave or long-term absence	人数 Number of employees	単体	人	62	56	37	61	47
	うちメンタルヘルス不調 Mental health disorder	単体	人	29	9	12	21	10
	メンタルヘルス以外の疾病 Diseases other than mental health	単体	人	33	47	15	40	37

両立支援・働き方改革 Work-family balance support, "work style reform"								
大項目 Category	小項目 Sub-category	単体 / 連結 Boundary	単位 Unit	2018年2月期 FY2/2018	2019年2月期 FY2/2019	2020年2月期 FY2/2020	2021年2月期 FY2/2021	2022年2月期 FY2/2022
有給休暇付与日数 Paid leave Number of granted		単体 Non-consolidated basis	日 days	18.5	18.3	18.3	18.2	18.1
有給休暇取得日数 Paid leave Number of % of days taken		単体	日	6.1	6.8	8.2	9.4	9.6
			%	33.1	37.0	44.7	51.2	52.7
産休取得者数 Number of employees who took maternity leave	期中合計 Mid-term total	単体	人 Persons	2	3	1	5	5
	期末日現在 As of the end of the term	単体	人	2	1	0	1	2
育児休業取得者数 Number of employees who took childcare leave	期中合計 Mid-term total	単体	人	2	4	3	7	9
	期末日現在 As of the end of the term	単体	人	1	2	2	4	3
同 男女別内訳 Breakdown by gender	男 Male	単体	人	0	1	0	1	2
	女 Female	単体	人	2	3	3	6	7
	計 Total	単体	人	2	4	3	7	9
同 取得後復職率 Ratio of employees who returned to work after taking childcare leave	男 Male	単体	%	-	100.0	-	100.0	100.0
	女 Female	単体	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	計 Total	単体	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※個別の注釈があるものを除き、原則、各期末日時点(決算日2/20)または通期(2/21～翌年2/20)の数値情報となっております。

労働時間・生産性 Working Hours and Productivity

大項目 Category	単体/連結 Boundary	単位 Unit	2018年2月期 FY2/2018	2019年2月期 FY2/2019	2020年2月期 FY2/2020	2021年2月期 FY2/2021	2022年2月期 FY2/2022
年間総労働時間(従業員1人当たり) Total annual working hours (Per employee)	単体 Non-consolidated basis	時間/年 hours/year	2,168	2,168	2,166	2,113	2,115
平均月間総労働時間(従業員1人当たり) Average total monthly working hours	単体	時間/月	181	181	181	176	176
平均残業時間(従業員1人当たり) Average overtime hours (Per employee)	単体	時間/月	6.7	8.2	8.7	6.8	7.8

ガバナンスに関するデータ

Governance

役員関連情報 Information on Officers

大項目 Category	小項目 Sub-category	単体/連結 Boundary	単位 Unit	2018年2月期 FY2/2018	2019年2月期 FY2/2019	2020年2月期 FY2/2020	2021年2月期 FY2/2021	2022年2月期 FY2/2022
社外役員比率 (取締役、監査役合算) Ratio of outside officers %		単体 Non-consolidated basis	%	25.0	25.0	26.7	25.0	25.0
取締役の平均年齢 Average age of directors		単体	歳 age	62.6	63.6	64.4	62.9	63.8
取締役(社内)の平均年齢 Average age of directors (internal)		単体	歳	61.6	62.6	63.7	61.3	62.6
監査役の平均年齢 Average age of audit & supervisory board members		単体	歳	72.3	73.3	68.8	69.7	70.5
取締役任期 Term of office of directors		単体	年 Years	1	1	1	1	1
監査役任期 Term of office of audit & supervisory board members		単体	年	4	4	4	4	4
取締役会 Board of Directors	員数 Members	単体	人 Persons	16	16	15	16	16
	開催回数 Number of meetings held	単体	回 Times	14	14	14	13	14
	出席率 Attendance ratio	単体	%	97.6	95.2	91.7	99.3	99.5
	出席率(社外取締役) Attendance ratio(outside directors)	単体	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	出席率75%以下の取締役 Members with 75% or less attendance	単体	人 Persons	1	1	1	0	0
監査役会 Audit & Supervisory Board	員数 Members	単体	人 Persons	4	4	4	4	4
	開催回数 Number of meetings held	単体	回 Times	16	16	18	17	17
	出席率 Attendance ratio	単体	%	98.4	95.3	100.0	97.1	100.0
	出席率(社外監査役) Attendance ratio(outside directors)	単体	%	96.9	100.0	100.0	94.1	100.0
	出席率75%以下の監査役 Members with 75% or less attendance	単体	人 Persons	0	0	0	0	0

委員会等 Committees, etc.

大項目 Category	小項目 Sub-category	単位 Unit	2018年2月期 FY2/2018	2019年2月期 FY2/2019	2020年2月期 FY2/2020	2021年2月期 FY2/2021	2022年2月期 FY2/2022
経営会議 Management Meetings	開催回数 No. of meetings	回 Times	毎週 every week	毎週 every week	毎週 every week	毎週 every week	毎週 every week
コンプライアンス 委員会 Compliance Committee	委員数 Members	人 Persons	12	12	10	10	14
	開催回数 No. of meetings	回 Times	4	4	4	4	4
執行役員会 Operating Officer Meeting	委員数 Members	人 Persons	21	13	10	11	11
	開催回数 No. of meetings	回 Times	13	12	8	7	7

※個別の注釈があるものを除き、原則、各期末日時点(決算日2/20)または通期(2/21~翌年2/20)の数値情報となっております。

環境に関するデータ

Environment

方針等の有無 Existence or Non-Existence of Policy, etc.	環境方針 Environmental Policy	あり Yes	「環境基本方針」 http://www.okuwa.net/
--	------------------------------	-----------	--

気候変動 Climate Change

大項目 Category	小項目 Sub-category	単体 / 連結 Boundary	単位 Unit	2018年2月期 FY2/2018	2019年2月期 FY2/2019	2020年2月期 FY2/2020	2021年2月期 FY2/2021	2022年2月期 FY2/2022
CO2排出量 CO2 Emissions	Scope 1	単体 Non-consolidated basis	t -CO2	12,864	11,979	12,790	14,768	14,860
	Scope 2	単体	t -CO2	143,534	139,785	125,236	106,414	97,094
	計 Total	単体	t -CO2	156,398	151,764	138,026	121,182	111,954
エネルギー使用量 Energy Consumption	電力使用量 Electricity Used	単体	GJ	1,030,546	1,003,762	1,005,871	990,074	942,483
		単体	千 kWh thousands of kWh	286,263	278,823	279,409	275,021	261,801
	再生可能エネルギー使用量 Renewable Energy Used	単体	GJ	-	-	-	-	11,799
		単体	千 kWh thousands of kWh	-	-	-	-	3,278
	太陽光発電使用量 Solar Power Energy Used	単体	GJ	-	-	1,116	4,133	5,671
		単体	千 kWh thousands of kWh	-	-	310	1,148	1,575
	ガス使用量（都市ガス） Natural Gas Used	単体	m ³	2,654,813	2,472,386	2,373,088	2,221,359	2,095,207
	ガス使用量（LPG） Natural Gas Used	単体	m ³	998,283	918,126	954,643	1,390,634	1,416,176
	ガソリン使用量 Petrol Used	単体	ℓ	算出不能	算出不能	275,389	241,520	251,596
	重油使用量 Heavyoil Used	単体	kℓ	165	165	236	222	226
	灯油使用量 Kerosene Used	単体	kℓ	222	222	219	149	224
計 Total	単体	GJ	234,576	218,275	229,729	262,738	262,936	

水 Water

大項目 Category	単体 / 連結 Boundary	単位 Unit	2018年2月期 FY2/2018	2019年2月期 FY2/2019	2020年2月期 FY2/2020	2021年2月期 FY2/2021	2022年2月期 FY2/2022
店舗水資源使用量 Store Water Used	単体 Non-consolidated basis	m ³	1,390,450	1,212,009	1,180,965	1,100,008	1,047,956
工場センター水資源使用量 Factory Center Water Used	単体	m ³	598,068	647,507	613,542	624,731	657,249
水資源使用量 合計 Total Water Used	単体	m ³	1,988,518	1,859,516	1,794,507	1,724,739	1,705,205

資源と廃棄物 Resources and Waste

大項目 Category	単体 / 連結 Boundary	単位 Unit	2018年2月期 FY2/2018	2019年2月期 FY2/2019	2020年2月期 FY2/2020	2021年2月期 FY2/2021	2022年2月期 FY2/2022
廃棄物排出量 Total Waste	単体 Non-consolidated basis	t	15,094	14,800	12,179	11,989	11,875
廃棄物リサイクル量 Waste Recycled	単体	t	4,190	4,118	3,899	3,971	4,128
再資源化・リサイクル率 % of Recycled Materials	単体	%	27.8	27.8	32.0	33.1	34.8
最終処分量 Waste Sent to Landfills	単体	t	10,904	10,682	8,279	8,018	7,746

コンプライアンス（環境関連） Compliance (Environment)

大項目 Category	単体 / 連結 Boundary	単位 Unit	2018年2月期 FY2/2018	2019年2月期 FY2/2019	2020年2月期 FY2/2020	2021年2月期 FY2/2021	2022年2月期 FY2/2022
環境法令違反件数 Number of Environmental Fines and Penalties	単体	回 violations	0	0	0	0	0
環境法令違反罰金額 Total Cost of Environmental Fines and Penalties	単体	円 Yen	0	0	0	0	0

※個別の注釈があるものを除き、原則、各期末日時点（決算日 2/20）または通期（2/21～翌年 2/20）の数値情報となっております。



株式会社オークワ

本社/〒641-8501 和歌山市中島185番地の3
TEL.073-425-2481(代)
<http://www.okuwa.net>

